

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は質疑応答と交代の時間を含めて 15 分です。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答をお願いします。
- 発表者ツールは画面共有失敗の原因になりやすいので極力使用をお控えください。どうしても使用したい場合はセッション前の試写で必ずご確認ください。

オンライン発表の方

- 事前に接続確認を行います。日時や方法等の詳細はメール等にてお知らせします。本年会では接続確認は行いません。
- 発表の順番になりましたら、Zoom の「画面共有」で発表用ファイルを選択し、ミュートを解除して発表を行って下さい。ビデオは ON をお願いします。

座長の方

- 座長を担当する方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長が行う Zoom 機能操作については後日お知らせします。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第1日 3月15日(水) 午前(9:30-12:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	膜交通	ゲノム機能・遺伝子発現制御	環境応答 A/生理反応	植物ホルモン/シグナル伝達物質
09:30	<p>1aA01 サンゴ骨格内に共生する糸状緑藻 <i>Phaeophila</i> による遠赤色光捕集戦略大波千恵子, 土屋徹, 宮下英明(京大・人環)</p>	<p>1aB01 塩ストレス応答における NHX5/6 の局在解析 井上祐紀¹, 清水優太郎², 伊藤瑛海³, 中野明彦², 植村知博¹(¹お茶大・院・ライフサイエンス, ²理研・光子工学, ³お茶大・ヒューマンライフ)</p>	<p>1aC01 DNA トポイソメラーゼ1はヒメツリガネゴケの精子形成過程における同調的なクロマチン凝集に機能する Nan Gu^{1,2}, 玉田洋介^{1,2,3}(¹宇都宮大・工, ²宇都宮大・REAL, ³宇都宮大・CORE)</p>	<p>1aD01 <i>OsHRZ</i> ノックダウンと人工型三価鉄還元酵素の同時導入によるイネの鉄欠乏耐性と鉄蓄積の同時強化 小林高範, 前田慶介, 鈴木優太郎, 西澤直子(石川県大・生物資源工学)</p>	<p>1aE01 7重要異体を用いた <i>CLE1-7</i> の機能解析 梶原大輝¹, 中上知², 澤進一郎³(¹熊本大・院自然科学教育, ²華中農業大学, ³熊本大・院生物環境農学国際研究センター)</p>
09:45	<p>1aA02 大型海洋藻ミル由来の光合成アンテナ SCP のクライオ電顕構造解析 関莊一郎, 仲庭哲津子², カストロハートマン パブロ³, サデル カシム³, ブーチャン³, 川本晃大^{2,4}, 田中秀明^{2,4}, 栗栖源嗣^{2,4}, 藤井律子^{1,5,6}(¹阪市大・院理, ²阪大・タンパク研, ³サーモフィック・チャーサイエンティフィック, ⁴大阪大学先端の学祭研究機構, ⁵阪公大・院理, ⁶阪公大・人工光合成センター)</p>	<p>1aB02 植物の細胞内膜輸送を制御する RABH1 GTPase の機能解析 大堀智博¹, 岩下明日香², 伊藤容子³, 伊藤瑛海³, 中野明彦², 上田貴志^{5,6}, 植村知博^{1,2}(¹お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, ²お茶の水女子大・理・生物, ³お茶の水女子大・ヒューマンライフ, ⁴理研・光子工学, ⁵基生研・細胞動態, ⁶総研大・基礎生物)</p>	<p>1aC02 カロテノイド合成経路遺伝子の破壊によるヒメツリガネゴケの赤外光誘導遺伝子操作法構築に向けた研究 沼田千鶴¹, 中村真菜¹, 友井拓実^{2,3}, 吉田優佳¹, 梶川育見³, 坂本丞⁴, 亀井保博^{5,6}, 玉田洋介^{1,3,6,7}(¹宇都宮大・院地域創生, ²宇都宮大・イノベーション支援, ³宇都宮大・工, ⁴ExCELLS・バイオフォニクス, ⁵基生研・バイオイメ, ⁶宇都宮大・CORE, ⁷宇都宮大・REAL)</p>	<p>1aD02 <i>OsBHLH064</i> 転写因子はイネの細胞内の鉄恒常性に関与する 新川はるか¹, 塩谷太一^{1,2}, 室田明星¹, 小林高範¹(¹石川県大・生物資源工学, ²名大院・生命農学)</p>	<p>1aE02 根のスクロース含量を正に制御する長距離移行性 <i>CLE2</i> ペプチド 岡本暁¹, 川崎梓¹, 牧野由美子², 石田喬志^{3,4}, 澤進一郎³(¹新潟大・院自然科学, ²基礎生物学研究所, ³熊本大・国際先端科学技術研究機構, ⁴熊本大・院自然科学)</p>
10:00	<p>1aA03 シフォナス大型海藻ミルの光合成アンテナ色素蛋白質複合体の単分子蛍光スペクトルの励起波長依存性 Tatas H. P. Brotosudarmo¹, Bernd Wittmann¹, 関莊一郎², 藤井律子³, Jürgen Köhler¹(¹バイロイト大(独)・分光学, ²阪市大・院理, ³阪公大・人工光合成研究センター)</p>	<p>1aB03 シロイヌナズナ <i>VAMP714</i> の細胞内局在の解析 江口倫子¹, 遠藤彩瑛¹, 伊藤瑛海², 中野明彦², 植村知博¹(¹お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, ²お茶の水女子大・ヒューマンライフ, ³理研・光子工学)</p>	<p>1aC03 シロイヌナズナにおいて核膜複合体はセントロメア二段階配置制御に関与する 伊藤ななみ¹, 坂本卓也², 坂本勇貴³, 松永幸大¹(¹東大・院・新領域・先端生命, ²東理大・理工・応用生物, ³大阪大・院理・生物科学)</p>	<p>1aD03 シロイヌナズナにおける <i>ABC36</i> (<i>AtABC36</i>) はカドミウム排出機能をもたない 伊藤圭達¹, 飯野雄飛², 秋廣高志³, 田野井慶太郎⁴, ラーマン アビドゥール^{1,2}(¹岩手大・院連合農学, ²岩手大・農・植物生命科学, ³鳥根大・生物資源科学, ⁴東京大・院農学生命科学)</p>	<p>1aE03 植物のストレス応答と成長のトレードオフを制御するペプチドホルモン大西(小川)真理, 山下智博, 垣田満, 中山卓也, 大久保祐里, 林陽子, 山下恭子, 野村泰三, 野田沙希, 篠原秀文, 松林嘉克(名大・院理学)</p>
10:15	<p>1aA04 ツノケイソウ <i>Lhcx1</i> 遺伝子のゲノム編集を利用した機能破壊と表現型解析 熊沢穂¹, 石川規子¹, 辻祥子¹, 井上(菓子野)名津子², 菓子野康浩², 伊福健太郎¹(¹京大院・農, ²兵大院・理学)</p>	<p>1aB04 ホウ酸トランスポーター BOR1 のリン酸化/脱リン酸化を介した偏在制御機構の解析 室啓太¹, 吉田麟太郎², 清水優大³, 大橋慧介⁴, 萩野由香⁴, 笠井光治⁵, 堀千明⁶, 高須賀太一⁴, 藤原徹⁵, 高野順平¹(¹大阪公立大・院農, ²大阪府立大・生命環境, ³大阪府立大・院生命環境, ⁴北大・院農, ⁵東大・院農学生命, ⁶北大・院環境)</p>	<p>1aC04 植物の再生能力獲得に関わるクロマチンモデリング因子の機能解析 堀江綾香¹, 坂本卓也², Mariana Diaz³, 乾弥生¹, Daniel Slane¹, 佐藤輝¹, 鈴木種⁴, 松永幸大¹(¹東大・院・新領域・先端生命, ²東理大・理工・応用生物, ³チューリッヒ大・植物微生物, ⁴東大・院・新領域・メディカル情報生命)</p>	<p>1aD04 非維管束植物ゼニゴケのリン応答における MYBCC-SPX モジュールの機能 福村日向丸¹, 北浦銀河¹, 加藤大貴^{1,2}, 酒井友希¹, 近藤佑貴¹, 深城英弘¹, 三村徹郎^{1,3,4}, 石崎公康¹(¹神戸大・院・理, ²愛媛大・院・理工, ³東大・院・農学生命科学, ⁴国立成功大・生科・科技)</p>	<p>1aE04 トマトの着果を制御するジャスモン酸の局在とその機能 野村悠華子¹, 陸宇², 榎元廣文³, 原田圭一郎¹, 矢野亮一⁴, 小嶋美紀子⁵, 竹林裕美子⁵, 榎原均⁶, 江面浩^{2,7}, 有泉亨^{2,7}(筑波大・院・生命地球科学, ²筑波大・生命環境, ³帝京大・理工, ⁴農研機構・分析研, ⁵理研・CSRS, ⁶名大院・生命農, ⁷筑波大・T-PIRC)</p>
10:30	<p>1aA05 緑色硫黄細菌の最小 I 型反応中心の光捕集機構・遺伝子操作的改変と理論的検討 浅井智広¹, 大岡宏造², 伊藤繁³, 鬼頭宏任⁴, 木村昭洋¹, 鬼頭宏任²(¹名古屋大・院物理, ²近畿大・理工)</p>	<p>1aB05 病原菌応答における植物分泌システムの役割 遠藤彩瑛¹, 田浦愛美², 八丈野孝³, 伊藤瑛海⁴, 伊藤容子⁴, 中野明彦⁵, 植村知博¹(¹お茶大・院・ライフサイエンス, ²お茶大・理・生物, ³愛媛大・農, ⁴お茶大・ヒューマンライフ, ⁵理研・光子工学)</p>	<p>1aC05 植物ヌクレオソーム再構成を利用した <i>HisT</i> H2B アセチル化修飾による DNA-ヒストン間相互作用への影響評価 上田実^{1,2}, 若森昌聡³, 武永充正⁴, 石田順子^{1,2}, 佐久間哲史⁴, 山本卓⁴, 梅原崇史³, 関原明^{1,2,5}(¹理研CSRS・植物ゲノム発現研究チーム, ²理研CPR・植物エピゲノム制御研究室, ³理研BDR・エピジェネティクス制御研究チーム, ⁴広島大学 理学・分子遺伝学研究室, ⁵横浜市大・木原生研)</p>	<p>1aD05 葉緑体局在 <i>DPD1</i> エキソヌクレアーゼ欠損変異体ではクロロファジーが抑制される 吉竹悠志¹, 吉本光希(明大・農)</p>	<p>1aE05 イネの主要なジャスモン酸受容体 <i>OsCOI2</i> の下流で機能する <i>OsJAZ2</i> と <i>OsJAZ5</i> の機能解析 稲垣秀生¹, 池田百伽², 湯本絵美³, 林謙吾⁴, 高岡洋輔⁴, 上田実^{4,5}, 宮本皓司^{1,2}(¹帝京大・理工, ²帝京大・理工, ³帝京大・先端機器セ, ⁴東北大院・理, ⁵東北大院・生命科学)</p>
10:45	<p>1aA06 I 型反応中心の光捕集機構の原理 伊藤繁¹, 木村昭洋¹, 鬼頭宏任²(¹名古屋大・院物理, ²近畿大・理工)</p>	<p>1aB06 <i>PICALM2</i> による花粉特異的 <i>VAMP72</i> メンバーの局在制御メカニズムの解析 海老根一生^{1,2}, 藤本優³, 室啓太⁴, 武内秀憲⁵, 野澤彰⁶, 澤崎達也⁶, 東山哲也⁷, 上田貴志^{1,2}(¹基生研・細胞動態, ²総研大・生命科学, ³東大・院農, ⁴大阪公立大・院農, ⁵名大・ITBM, ⁶愛媛大学・プロテオサイエンスセンター, ⁷東大・院理)</p>	<p>1aC06 ㊦ Fluctuation in nitrate availability impacts chromatin profile of cytokinin biosynthesis genes Fanny Bellegarde, Olivia Tjahjono, Hitoshi Sakakibara (Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)</p>	<p>1aD06 エノコログサにおける窒素欠乏応答に関する研究 那部良亮佑, Bellegarde Fanny, 木羽隆敏(名大・院生命農学)</p>	<p>1aE06 ジャスモン酸受容体 <i>COI1-JAZ9</i> 選択的に作用するコロンチン立体異性体を用いたジャスモン酸シグナル伝達の化学遺伝学的解析 林謙吾¹, 加藤信樹¹, Khurram Bashir^{2,3}, 野本春菜¹, 中山美涼¹, Andrea Chini⁴, 高橋聡史², 齋藤大満⁵, 渡部楽⁶, 高岡洋輔¹, 田中真帆², 永野惇^{7,8}, 関原明², Roberto Solano⁴, 上田実^{1,6}(¹東北大・院理学, ²理研 環境資源科学研究センター, ³ラホール経営科学大, ⁴スペイン国立バイオテクノロジーセンター, ⁵北陸大・薬学, ⁶東北大・院生命科学, ⁷龍谷大・農学, ⁸慶徳大・先端生命科学研)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	光受容体/光応答	システム生物学				
<p>1aF01 葉緑体型 DHAR3 とグルタチオンの協働が光酸化ストレス条件のアスコルビン酸蓄積能力を決定する 濱田あかね, 小川貴央, 石川孝博, 丸田隆典 (鳥根大院・自然科学)</p> <p>1aF02 葉緑体 GS/GOGAT サイクルはカタラーゼ欠損変異株において酸化ストレス応答を駆動する 石橋可菜¹, 丸田隆典^{1,2}, Amna Mhamdi², Frank Van Breusegem² (鳥根大院・自然科学, ²Plant Systems Biol., VIB-Ghent Univ.)</p> <p>1aF03 吾類ゼニゴケのアスコルビン酸合成は光応答性を示さない 石田哲也¹, 鍛示はるか², 田中泰裕³, 小川貴央^{1,2,3}, 丸田隆典^{1,2,3}, 重岡成⁴, 石川孝博^{1,2,3} (鳥根大院・自然科学, ²鳥根大・生物資源, ³鳥取連大・生命資源, ⁴近畿大・付属農場)</p> <p>1aF04 低温プラズマ照射に対するゼニゴケの初期応答と成長に対する効果 坪山祥子¹, 奥村賢直², 古閑一憲^{2,3}, 白谷正治², 朽津和幸¹ (東京理科大・理工・応用生物学, ²九大・シス情, ³自然科学研究機構)</p> <p>1aF05 ゼニゴケにおけるストレス応答性長距離シグナル伝達機構の解析 渡邊健志郎, 長谷川晃汰, 神谷有紀, 菊地宏樹, 進藤大輝, 橋本研志, 朽津和幸 (東京理科大・理工・応用生物学)</p> <p>1aF06 ゼニゴケにおける Non-specific phospholipase C の機能解析 打越太輔¹, 下城彩¹, 堀孝一¹, 石崎公庸², 太田啓之¹, 下嶋美恵¹ (東工大・生命理工院, ²神戸大・院・理)</p>	<p>1aG01 表皮の不均一性の発生機構の解析 永田賢司¹, 高橋卓², 阿部光知¹ (東大・院総合文化, ²岡山大・院自然科学)</p> <p>1aG02 植物の表皮細胞分化と <i>ATML1</i> の活性調節 高田忍¹, Gerd Jürgens², 飯田浩行³ (大阪大学・理学部・生物, ²ZMBP, University of Tübingen, ³Institute of Biotechnology, HiLIFE, University of Helsinki)</p> <p>1aG03 NPH3 様タンパク質の凝集および脱凝集がオーキシン極性輸送を制御する Xiaomin Song¹, Yi Yang¹, 澤進一郎², 古谷将彦^{2,3} (福建農林大・生命科学, ²熊大・生物環境農学国際研究センター, ³熊大・国際先端科学技術研究機構)</p> <p>1aG04 受容体様キナーゼ DPK1 の極性局在機構における酸性ループ領域の機能解析 吉成晃^{1,2}, 三城恵美¹, 加納圭子¹, 桑田啓子¹, フロマー ウォルフ^{1,3,4}, 中村匡良¹ (名大・WPI-ITbM, ²名大・高等研究院, ³ハイブリッド・ハイネ大学, ⁴マックス・プランク植物育種研究所)</p> <p>1aG05 保存された FAMA-WSB モジュールの転用によるアラバシ目生体防御系の進化 白川一^{1,2}, 小黒友輝¹, 菅野茂夫³, 山岡尚平⁴, 相良真由¹, 谷田舞¹, 松本紘彰¹, 熊石妃恵⁵, 吉田颯馬⁶, 渡邊むつみ¹, 峠隆之¹, 鈴木孝征⁷, 市橋泰純^{2,5}, 武宮淳史⁶, 山口暢俊¹, 河内孝之⁴, 伊藤寿朗¹ (奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科, ²JST さきがけ, ³産業技術総合研究所, ⁴京都大学, ⁵理化学研究所 バイオリソース研究センター, ⁶山口大学, ⁷中部大学)</p> <p>1aG06 ライブイメージング解析から追える, シロイヌナズナ受精卵の極性的な伸長機構 松本光聖¹, 中川朝未², 楢垣匠³, 津川映⁴, 石本志高⁴, 野々山朋信⁴, 康子辰⁴, 植田美那子^{1,2} (東北大・院生命科学, ²東北大・理, ³熊本大・IROAST, ⁴秋県大・システム)</p>	<p>1aH01 緑藻フラツノクンシヨウモモの無性生殖サイクルに関する光受容体遺伝子の探索 正木重嘉理^{1,2}, 鈴木智大^{1,2}, 篠村知子³, 児玉豊^{1,2} (宇都宮大・バイオセンター, ²宇都宮大院・地域創生, ³帝京大・理工・バイオサイエンス)</p> <p>1aH02 花茎伸長におけるフィトクロムの働き 工藤拓登, 中川蘭 (石巻専修大・理工・生命科学)</p> <p>1aH03 UV-B ストレスがシロイヌナズナの開花に与える影響 高橋理未, 高橋有希, 日出間純, 寺西美佳 (東北大・院・生命科学)</p> <p>1aH04 ゼニゴケ光回復酵素 (MpPHR) の光による遺伝子発現制御と細胞内局在 新井崇広, 小川裕雅, 三岡周子, 寺西美佳, 日出間純 (東北大・院・生命科学)</p> <p>1aH05 イネの種子形成における UV-B 光受容体 UVR8 の役割に関する研究 菅井美沙希, 三浦華子, 寺西美佳, 日出間純 (東北大・院・生命科学)</p> <p>1aH06 CDKA が光応答を制御する新たな仕組みの解明 宮崎翔多¹, 井上夏実², 石川雅樹³, 長谷部光泰³, 関根政実⁴, 藤田知道² (北大・院生命科学, ²北大・院理, ³基生研・生物進化, ⁴石川県大・生物資源環境)</p>	<p>1aI01 分子収斂でつながる革新的形質と遺伝子の進化 福島健児 (ヴェルツブルク大)</p> <p>1aI02 イネにおける QTL 検出の信頼性向上に向けたレガシーデータの GWAS への有効利用 菅波真史¹, 小島創一², Wang Fanmiao³, 吉田英樹¹, 三浦孝太郎⁴, 森中洋一⁴, 渡辺正夫⁵, 山本英司⁶, 松岡信¹ (福島大学食農学類附属発酵醸造研究所, ²東北大学大学院農学研究科, ³名古屋大学生物機能開発利用研究センター, ⁴福井県立大学生物資源学部, ⁵東北大学大学院生命科学研究所, ⁶明治大学大学院農学研究科)</p> <p>1aI03 植物と動物のプロモーターエレメントの比較解析 圓山恭之進^{1,2}, 櫻井哲也³, 山本義治⁴, 光田展隆⁵, 坂本真吾⁵ (国際農研, ²筑波大, ³高知大・複合領域科学, ⁴岐阜大・応用生物, ⁵産総研・生物プロセス)</p> <p>1aI04 ウミウシ・チドリミドリガイは遺伝子の水平伝播無しで外來葉緑体を使い光合成をする 前田太郎¹, 森大¹, 永野惇^{1,2} (慶応大・IAB, ²龍谷大・農)</p> <p>1aI05 ㊦ Omics resources provide important insights into the biosynthesis of specialized metabolites in <i>Magnolia obovata</i> Megha Rai^{1,2}, Amit Rai^{2,3}, Towa Yokosaka¹, Tetsuya Mori³, Ryo Nakabayashi², Michimi Nakamura¹, Hideyuki Suzuki⁴, Kazuki Saito^{2,3}, Mami Yamazaki^{1,2} (Grad. Sch. of Pharm. Sci., Chiba Univ., ²Plant Mol. Sci. Cntr., Chiba Univ., ³CSRS, RIKEN, ⁴Kazusa DNA Res. Inst.)</p> <p>1aI06 農業生態系のマルチオミクス解析による生育と品質のトレードオフの解消 藤原風輝^{1,2}, 二瓶直登³, 福島敦史⁴, 鈴木健大¹, 清水昌平^{5,6}, 菊地淳^{7,8}, 松本朋子⁷, 成川恵¹, 菅波真史³, 宮沢佳恵², 市橋泰純¹ (理研・BRC, ²東大・農学生命科学, ³福島大・食農学類, ⁴京府大・生命環境科学, ⁵滋賀大・データサイエンス, ⁶理研・AIP, ⁷理研・CSRS, ⁸横浜市大・生命医科学)</p>	シンポジウム S O 1	シンポジウム S O 2	シンポジウム S O 3	09:30
				植物の挑戦的な生殖メカニズムと繁殖適応 (9:30-12:30)	リソース配分制御から読み解く植物の生存戦略 (9:30-12:30)	ゲノム編集の現在・新しいツールから幅広い応用と今後の展開 (9:30-12:30)	09:45
							10:00
							10:15
							10:30
							10:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月15日(水) 午前(9:30-12:30)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	膜交通	ゲノム機能・遺伝子発現制御	環境応答 A/生理反応	植物ホルモン/シグナル伝達物質
11:00	<p>1aA07 硫化水素依存的な光合成の転写制御に関わるポリスルフィド代謝の解析 清水隆之¹, 井田智章², Giuliano T. Antelo³, 井原雄太⁴, 増田真二⁴, David P. Giedroc³, 赤池孝章², Daiana Capdevila³, 増田建¹ (1東大・院・総合文化, 2東北大・院・医学, 3インディアナ大, 4東工大・生命理工学院)</p>	<p>1aB07 シロイヌナズナにおける, 膜交通因子 Sec1-Munc18 タンパク質 <i>BEN2/VPS45</i> 機能欠損変異体の作成とその解析 菟田航伍, 田中博和(明治大・院農生命)</p>	<p>1aC07 ㊟ Epigenetic-driven synergistic and antagonistic regulation on transposable elements carried out by HDA6 and LDL1/2 Jo-Wei Allison Hsieh^{1,2}, Ming-Ren Yen¹, Fu-Yu Hung³, Keqiang Wu³, Pao-Yang Chen^{1,2} (1Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 2Genome and Systems Biology Degree Program, Academia Sinica and National Taiwan University, Taipei, Taiwan, 3Institute of Plant Biology, National Taiwan University, Taipei, Taiwan)</p>	<p>1aD07 ダイズとコマツナの大规模フィールドオミクスの比較解析 大熊直生¹, 熊石紀恵¹, 福島敦史^{2,3}, 小林奈通子⁴, 濱本昌一郎⁴, 草野都⁵, 成川恵¹, 伊達康博⁶, 田野井慶太郎⁴, 二瓶直登⁷, 市橋泰範¹ (1理研BRC, 2京都府立大・院生命環境, 3理研CSRS, 4東京大・院農学生命科学, 5筑波大・生命環境系, 6農研機構, 7福島大・食農学類)</p>	<p>1aE07 ジャスモン酸シグナル伝達を化学制御するペプチド型ケミカルツールの開発 高岡洋輔¹, 劉瑞琦¹, 李奇¹, 鈴木華穂¹, 上田実^{1,2} (1東北大院理, 2東北大院生命科学)</p>
11:15	<p>1aA08 緑色硫黄細菌の嫌気培養で発生する硫黄依存的な光合成の光阻害 東口正彦, 寺内一姫, 浅井智広(立命館大学大学院生命科学研究所)</p>	<p>1aB08 ㊟ Analysis of a novel <i>trans</i>-Golgi/TGN-localized protein family in <i>Arabidopsis thaliana</i> Natalia Julia Rzepecka¹, Emi Ito², Yoko Ito², Tomohiro Uemura¹ (1Grad. Sch. of Humanities and Sciences, Ochanomizu Univ., 2IHLS, Ochanomizu Univ.)</p>	<p>1aC08 イネ胚乳におけるユニークなヘテロククロマチン動態 川勝泰二¹, 西田帆那¹, 永田博基², 小野明美², 殿崎薫², 木下哲² (1農研機構・河内雄三 研究センター, 2横市大・木原生研)</p>	<p>1aD08 モンゴル草原植物 <i>Chloris virgata</i> の迅速成長性及び新規成長促進遺伝子の機能解析 河端置太郎¹, Bolortuya Byambajav², Namuunaa Ganbayar¹, 山上あゆみ¹, Davaapurev Bekh-Ochir², 高橋文憲³, 井上小楨³, 持田恵一³, 篠崎一雄³, 浅見忠男⁴, Batkhuu Javzan², 中野雄司¹ (1京都大・院生命, 2モンゴル国立大学, 3理研・CSRS, 4東京大・院農生)</p>	<p>1aE08 ジャスモン酸・サリチル酸双方の経路を活性化させる新規化合物の構造活性相関と標的因子の解析 朽津和幸¹, 舟橋汰樹¹, 並木健太郎¹, 北畑信隆^{1,2}, 齊藤優歩¹, 中野正貴¹, 橋本研志¹, 浅見忠男², 木村成介³, 勇澤翔矢¹, 根本健司¹, 栗野真妃¹, 倉持幸司¹ (1東京理科大・理工・応用生物科学, 2東京大・農学生命科学, 3京都産業大・統合生命科学)</p>
11:30	<p>1aA09 光合成細菌 <i>Rhodobacter capsulatus</i> における機能未知ニトロゲナーゼ類似酵素の解析 守本好彦, 藤田祐一, 山本治樹(名大院・生命農)</p>	<p>1aB09 基部陸上植物タイ類ゼニゴケにおける ESCRT-III 複合体の機能解析 西野高紀¹, 法月拓也², 真野昌二^{1,3}, 海老根一生^{1,3}, 上田貴志^{1,3} (1基生研, 2群馬大・生調研, 3総研大)</p>	<p>1aC09 植物ミトコンドリアのシトクロム c 成熟に関わる mRNA 編集とポリ A 付加の関係性について 間宮章仁^{1,4}, 山本荷葉子¹, 小林建人², 八木祐介², 中村崇裕², 平山隆志², 深城美弘⁴, 杉山宗隆¹ (1東大・院理・生物科学, 2九大・院・農・生命機能, 3岡山大・資源植物研, 4神戸大・院理・生物)</p>	<p>1aD09 葉寿命のイン・ナチュラ研究: 生育シーズンと越冬シーズンとで対照的な寿命制御 工藤洋¹, 湯本原樹¹, 西尾治幾^{1,2}, 村中智明^{1,3}, 杉次郎¹, 本庄三恵¹ (1京大・生態研, 2滋賀大・DS AIセンター, 3鹿児島大・農学)</p>	<p>1aE09 SA-JA 濃度依存的な応答の解明に向けた <i>A. thaliana</i> の大規模トランスクリプトーム解析 富田敏幹^{1,2}, 前田太郎^{2,3}, 森山奈津美³, 野村康之³, 栗田悠子⁴, 鹿島誠³, 富田勝^{1,2}, 別役重之⁶, 永野惇^{2,3,6} (1慶徳大・環境情報, 2慶徳大・IAB, 3龍谷大・食農研, 4東大・農, 5青山学院大・理工, 6龍谷大・農)</p>
11:45	<p>1aA10 緑色硫黄細菌の光合成反応中心における静電相互作用による表在性サブユニットの結合 稲垣知実, 寺内一姫, 浅井智広(立命館大学大学院生命科学研究所)</p>	<p>1aB10 液胞局在タンパク質 MpSHO1 が介在する油体形成機構 金澤建彦¹, 八野田奨², 上田貴志^{1,2} (1基生研・細胞動態, 2総研大・生命科学)</p>	<p>1aC10 ミトコンドリアにおけるポリ A 付加 mRNA の蓄積の影響を抑制するシロイヌナズナの変異について 平山隆志¹, 金俊植^{1,2}, 持田恵一² (1岡山大学・植物研, 2理研・環境資源セ)</p>	<p>1aD10 寄生植物アメリカネナシカズラは芽生えから成熟シユートへの移行過程で光応答を調節し, 光環境に適應している 横山俊哉¹, 浅岡真理子², 渡辺明³, 西谷和彦² (1神奈川大・院理学, 2神奈川大・理, 3東北大・多元研)</p>	<p>1aE10 ㊟ Effect of Prohydrojasmon on The Growth of <i>Komatsuna</i> and Their Mechanism Action Haidar Rafid Azis¹, Shinya Takahashi^{1,2}, Mitsuko Aono^{2,5}, Nobuyoshi Nakajima³, Masami Koshiyama³, Hiroshi Fujisawa⁴, Hiroko Isoda^{1,2} (1Alliance for Research on the Mediterranean and North Africa (ARENA), University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, 2Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, 3Specialty Chemical Division, Zeon Corporation, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan, 4Special Adviser, Zeon Corporation, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan, 5Biodiversity Division, National Institute for Environmental Studies, Tsukuba, Japan)</p>
12:00	<p>1aA11 光化学系 I 組み立て中間体の光捕集とスペクトルの不均一性 柴田稔¹, 金田直也¹, ネレバリ スリーター², 高橋裕一郎² (1東北大・院理, 2岡山大学・異分野基礎研)</p>	<p>1aB11 植物由来抗菌剤のボアシン酸によるテッポウエリ花粉管の発芽と花粉管伸長の阻害 小林那奈美¹, 大矢慎一², 林八寿子³, 西川周^{1,3} (1新潟大・院・自然研, 2東大・新領域, 3新潟大・理)</p>	<p>1aC10 ミトコンドリアにおけるポリ A 付加 mRNA の蓄積の影響を抑制するシロイヌナズナの変異について 平山隆志¹, 金俊植^{1,2}, 持田恵一² (1岡山大学・植物研, 2理研・環境資源セ)</p>	<p>1aD10 寄生植物アメリカネナシカズラは芽生えから成熟シユートへの移行過程で光応答を調節し, 光環境に適應している 横山俊哉¹, 浅岡真理子², 渡辺明³, 西谷和彦² (1神奈川大・院理学, 2神奈川大・理, 3東北大・多元研)</p>	<p>1aE11 ゼニゴケの新規始原 jasmonate, Δ¹-dinor-OPDA の合成・同定 加治拓哉¹, 吉松幸徳¹, 加藤信樹¹, 櫻井春香¹, 楊剛強², Guillermo H. Jimenez-Aleman³, Roberto Solano³, 上田実^{1,4} (1東北大・院理, 2煙台大・薬, 3CNB-CSIC, 4東北大・院生命)</p>
12:15	<p>1aA12 イネの生葉における光化学系 I 集光活性の環境応答 高木大輔(摂南大学 農学部)</p>	<p>1aB11 植物由来抗菌剤のボアシン酸によるテッポウエリ花粉管の発芽と花粉管伸長の阻害 小林那奈美¹, 大矢慎一², 林八寿子³, 西川周^{1,3} (1新潟大・院・自然研, 2東大・新領域, 3新潟大・理)</p>	<p>1aC10 ミトコンドリアにおけるポリ A 付加 mRNA の蓄積の影響を抑制するシロイヌナズナの変異について 平山隆志¹, 金俊植^{1,2}, 持田恵一² (1岡山大学・植物研, 2理研・環境資源セ)</p>	<p>1aD10 寄生植物アメリカネナシカズラは芽生えから成熟シユートへの移行過程で光応答を調節し, 光環境に適應している 横山俊哉¹, 浅岡真理子², 渡辺明³, 西谷和彦² (1神奈川大・院理学, 2神奈川大・理, 3東北大・多元研)</p>	<p>1aE12 ジャスモン酸による MYC2 を介したジベレリン内含量調節と成長抑制機構 深澤壽太郎¹, 森和也¹, 森亮太¹, 安藤広記¹, 菅野裕理², 瀬尾光範², 高橋陽介¹ (1広島大・院統合生命, 2理研・CSRS)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	光受容体/光応答	システム生物学				
<p>1aF07 ヒメツリガネゴケの ABA 応答に関与するシグナル伝達因子の細胞内局在解析 池田悠子¹, 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 竹澤大輔², 坂田洋一¹(¹東京農大・院・バイオ,²埼玉大・理工学研究科)</p>	<p>1aG07 光照射によるニンジン不定胚形成促進の分子メカニズムの解明 鶴創貴隆¹, 山田秀俊^{1,2}, 東克己^{1,2}(¹帝京科学大・院理工学,²帝京科学大・生命環境)</p>	<p>1aH07 Cleavage Factor I は pre-mRNA における 3'UTR 切断部位選択の多様性に不可欠である 張曉娟¹, Łukasz Szewc², 野元美佳^{3,4}, Marta Garcia-León⁵, 加藤真理子¹, 由良敬^{6,7,8}, Vicente Rubio⁹, 多田安臣^{3,4}, 古本強⁹, 青山卓史¹, Artur Jarmolowski², 柘植知彦¹(¹京大・化研,²Adam Mickiewicz 大・Inst. Mol. Biol. Biotech.,³名大・遺伝子,⁴名大院・理学,⁵CSIC・NatI. Ctr. Biotech.,⁶早大・先進理工,⁷お茶大・院人間文化創成科学,⁸お茶大・文理融合AI データサイエンス,⁹龍大・農)</p>	<p>1aI07 ケミカルトランスクリプトミクスを用いた化合物に対する応答の網羅的解析 李河暎¹, 森山奈津美¹, 野村康之², 檜垣匠³, 佐藤綾人⁴, 永野惇^{1,5}(¹龍谷大学・農学部,²龍谷大学・食と農の総合研究所,³熊本大学・大学院先端科学研究部,⁴トランスフォーマティブ生命分子研究所, 名古屋大学,⁵慶應義塾大学先端生命科学研究所)</p>	<p>シンポジウム S01 植物の挑戦的な生殖メカニズムと繁殖適応 (9:30-12:30)</p>	<p>シンポジウム S02 リソース配分制御から読み解く植物の生存戦略 (9:30-12:30)</p>	<p>シンポジウム S03 ゲノム編集の現在・新しいツールから幅広い応用と今後の展開 (9:30-12:30)</p>	11:00
<p>1aF08 ヒメツリガネゴケにおける B3-RAF like kinase の ABA 浸透圧ストレス応答に依存した SnRK2 の活性制御機構の解析 小原直也¹, 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 竹澤大輔², 坂田洋一¹(¹東京農大・院・バイオ,²埼玉大・理工学研究科)</p>	<p>1aG08 MphYPNOS によるゼニゴケ無性芽の休眠制御機構 芳村那美¹, 吉川実樺子¹, 安田有沙², 加藤大貴^{1,3}, 酒井友希¹, 三村徹郎^{1,4,5}, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹(¹神戸大・院・理,²神戸大・理,³愛媛大・院・理工,⁴東大・院・農学生命,⁵国立成功大・生科・科技)</p>		<p>1aI08 ケナフ葉枕の 3 次元 CT 画像定量解析 中田未友希^{1,2}, 高原正裕³, 山田敏弘⁴, 出村拓^{1,2}(¹奈良先端大・先端・バイオ,²奈良先端大・CDG,³アカシア園芸,⁴大阪公立大・植物園)</p>				11:15
<p>1aF09 ヒメツリガネゴケにおける ABA および浸透圧応答に関与するセンサーヒステジニキナーゼの機能解析 宮部マルコス 武志¹, 松村拓樹¹, 鳥山士¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹(¹東京農大・院・バイオ,²埼玉大・理工学研究科)</p>	<p>1aG09 KL 信号伝達系はサイトカニンを紹介してタイ類ゼニゴケの栄養繁殖を制御する 小松愛乃¹, 藤林瑞季², 細矢福多郎², 熊谷風社¹, 鈴木秀政¹, 児玉恭一¹, 水野陽平¹, 竹林裕美子³, 小嶋美紀子³, 榎原均^{3,4}, 謝肖男⁵, 橋本悟史^{1,6}, 経塚淳子¹(¹東北大・院生命科学,²東北大・理,³理研・CSRS,⁴名大・院生命科学,⁵宇都宮大・バイオ,⁶北大・院理)</p>		<p>1aI09 ディープラーニングを用いたシロイヌナズナの気孔開度自動定量技術の開発 高木桃子¹, 平田梨佳子², 相原悠介^{1,3}, 林優紀⁴, 水谷未耶¹, 安藤英伍⁵, 河野(吉村) 恵実⁶, 富山将和⁶, 木下俊則^{1,4}, 峯彰², 戸田陽介^{1,6}(¹名古屋大・ITbM,²京大・院農,³JST・さきがけ,⁴名古屋大・院理,⁵東京大・理,⁶株式会社フィットメトリクス)</p>				11:30
<p>1aF10 ㊦ Targeted in vivo mutagenesis of a sensor histidine kinase responsible for ABA signaling in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Rahul Sk¹, Marcos Takeshi Miyabe¹, Daisuke Takezawa², Shunsuke Yajima¹, Izumi Yotsui¹, Teruaki Tajiri¹, Yoichi Sakata¹(¹Dept. of Biosci., Tokyo Univ. of Agri.,²Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)</p>	<p>1aG10 イネ突然変異体 <i>cls3</i> は鱗被の膨潤不全によって閉花性を示す 黒羽剛¹, 木水真由美¹, 野坂亮仁¹, 川原善浩², 吉田均¹(¹農研機構・生物研,²農研機構・高度分析研究センター)</p>						11:45
<p>1aF11 ヒメツリガネゴケにおける SAL1-PAP 経路の機能解析 大谷知希¹, 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹(¹東京農大・バイオ)</p>	<p>1aG11 多細胞性接合藻アオミドロ属 <i>Spirogyra parvula</i> ゲノムの解読と単細胞性接合藻および陸上植物との比較解析 西山智明¹, 池谷仁里², 高野智之^{2,3}, 坂山英俊², 関本弘之⁴(¹金沢大,²神戸大,³東京大,⁴日本女子大)</p>						12:00
<p>1aF12 ㊦ Abscisic acid-induced osmotic stress tolerance mediated by the EIN2-related Nrapm-family proteins in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Md. Masudul Karim^{1,2}, Mousona Islam¹, Kanata Hirota¹, Yoichi Sakata¹, Daisuke Takezawa¹(¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Saitama, 338-8570, Japan,²Department of Crop Botany, Bangladesh Agricultural University, Mymensingh-2202, Bangladesh,³Department of Bioscience, Tokyo University of Agriculture, Tokyo, 156-8502, Japan)</p>	<p>1aG12 NBRP アサガオの変異体リソースのゲノム情報整備 星野敦^{1,2}, 白澤健太³, 山田哲也⁴, 豊田敦⁵, 仁田坂英二⁶(¹基生研,²総研大・生命科学,³かずさDNA研,⁴東京農工大・院・農,⁵国立遺伝研,⁶九州大・院・理・生物科学)</p>						12:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月15日(水) 午後(14:00-17:00)






時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	生体膜・イオン・物質輸送	ゲノム機能・遺伝子発現制御	特化(二次)代謝	生殖
14:00	<p>1pA01 クラミドモナス PGR1 が PSI 光防御に果たす役割 高橋拓子¹, 高山健太¹, 井須敦子², 若林憲一², 久堀徹², 西山佳孝¹(¹埼玉大学大学院・理工学研究科, ²東京工業大学・科学技術創成研究院・化学生命科学研究所)</p>	<p>1pB01 イネケイ酸輸送体 Lsi1 の偏在制御に對するホスファチジン酸の関与の検討 小西範幸, 馬建鋒(岡山大・植物研)</p>	<p>1pC01 非 AUG 開始型上流 ORF と RNA 二次構造による翻訳制御を介したポリアミン合成のフィードバック機構 平郡雄太¹, 安室美陽², 海藤篤¹, 狩野泰平¹, 山下由衣¹, 内藤哲¹, 尾之内均¹(¹北大・院農, ²北大・農)</p>	<p>1pD01 トランスクリプトーム解析を用いたエンドウ (<i>Pisum sativum</i> L.) の (+)-pisatin 生合成の探索 内田開¹, 平井優美^{1,2}(¹理研CSRS, ²名大院・生命農学)</p>	<p>1pE01 ㊦ Dynamics of male mitochondria in rice zygotes and partial retention of male mitochondrial DNA in rice plant Hanifah Aini¹, Kasidit Rattanawong¹, Mari Tanaka², Hiroyuki Tsuji², Takashi Okamoto¹(¹Grad. Sch. Sci., Tokyo Met. Univ., ²Kihara Inst., Yokohama City Univ.)</p>
14:15	<p>1pA02 多周波 EPR でとらえた酸素発生系高スピン S₂ 状態の配位環境 三野広空¹, 小崎慎也², 中島芳樹³, 沈建仁^{3,4}(¹名大院・理, ²名大・理, ³岡山大・異分野基礎研, ⁴Key Lab. Photobiol., Inst. Botany, Chinese Acad. Sci., China)</p>	<p>1pB02 ㊦ Functional characterization of two genes involved in phosphorus loading into barley grains Hengliang Huang, Hiroshi Hisano, Sheng Huang, Namiki Mitani-Ueno, Kazuhiro Sato, Naoki Yamaji, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>1pC02 シロイヌナズナ tRNA-wobbleU 修飾欠失株における遺伝子発現解析 中井由美(大阪医薬大・生化学)</p>	<p>1pD02 ムラサキのシコニン生合成に関わる2つのペルオキシソーム局在型 4-coumaroyl-CoA ligase 中西浩平¹, 李豪¹, 市野琢爾¹, 巽奏¹, 刑部敬史², 渡辺文太³, 下村講一郎⁴, 矢崎一史¹(¹京大・生存研, ²徳島大・生物資源, ³慈恵医大・化学研究室, ⁴東洋大・生命科学)</p>	<p>1pE02 ミトコンドリア遺伝子 <i>orf312</i> が葯の裂開を阻害する 'Tadukan' 型細胞質雄性不稔性イネの組織学的解析 高塚歩¹, 風間智彦², 鳥山欽哉¹(¹東北大・農, ²九州大・農)</p>
14:30	<p>1pA03 光化学系 II におけるチロシン D の酸化還元電位の評価 加藤祐樹, 岩銅壮平, 政本彰帆, 三野広幸, 野口巧(名古屋大・院理)</p>	<p>1pB03 ㊦ OsMGT2 mediates the translocation and preferential distribution of magnesium in rice Sheng Huang, Naoki Yamaji, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>1pC03 褐虫藻 <i>Breviolum minutum</i> の増殖制御に關与する cold shock protein の ChIP-seq 解析 吉原静志¹, 水口洋平², 豊田敦², 徳本勇人¹(¹大阪大・院理, ²遺伝研・比較ゲノム)</p>	<p>1pD03 プロアントシアニン生合成経路の解明 川俣零, 峠隆之, 渡辺むつみ, 野野おの(奈良先端大・先端科学技術研究科バイオサイエンス領域)</p>	<p>1pE03 細胞質雄性不稔性トマトにおける花粉内部 Ca²⁺ および小胞の局在性調査 桑原康介¹, 有泉亨²(¹筑波大・院理工情報生命, ²筑波大・生命環境系)</p>
14:45	<p>1pA04 ホスファチジルグリセロール (PG714) と相互作用する D1-R140 の部位特異的置換が PSII の構造, 機能およびアセンブリーに与える影響 棚瀬元貴¹, 篠田稔行¹, 遠藤嘉一郎², 柄達也³, 沈建仁⁴, 神保晴彦², 和田元², 水澤直樹^{1,5}(¹法政大・生命, ²東大・院総合文化, ³東理大・院理, ⁴岡山大・異分野, ⁵法政大・ナノテク)</p>	<p>1pB04 ㊦ Physiological and molecular characterization of high Mn tolerance in Cd/Zn hyperaccumulator <i>Sedum alfredii</i> Jun Ge, Jian Feng Ma (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)</p>	<p>1pC04 2色咲き品種ダリアの形質発現に對するダイサー-DCL4 活性の解析 栗山和典¹, 大野翔², 田原緑³, 森山裕充¹, 福原敏行¹(¹東京農工大・連合農学, ²京都大・農, ³立命館大学・R-GIRO)</p>	<p>1pD04 ペニバナ (<i>Carthamus tinctorius</i> L.) 由来 C-グリコシルトランスフェラーゼの同定と酵素機能解析 門脇芽以¹, 和氣駿之¹, 藤田直樹², 沼野井一輝¹, 佐藤誠哉¹, 寺下美穂¹, 福田敬志², 加藤幹也², 根岸尚志³, 内田弘美³, 青木裕一⁴, 田口悟朗², 高橋征司¹, 中山亨¹(¹東北大院・工, ²東洋インキSCホールディングス(株), ³トーヨーケム(株), ⁴東北大東大東北メディカル・メガバンク機構, ⁵信州大・繊維)</p>	<p>1pE04 ジャガイモ β 型 CMS の候補遺伝子の発見 中嶋梨花¹, 桑原康介², 小達夏輝¹, 白澤健太³, 有泉亨⁴(¹筑波大・生物資源, ²筑波大・地球生命科学, ³かずさDNA研究所, ⁴筑波大・生命環境系)</p>
15:00	<p>1pA05 光化学系 II 複合体の修復におけるグラクトリパーゼの役割 神保晴彦, 和田元(東京大学大学院総合文化研究科)</p>	<p>1pB05 イネのハウ酸吸収と根の形態及び構造との関連 藤井理樹, 山地直樹, 馬建鋒(岡山大・植物研)</p>	<p>1pC05 TMV 感染シロイヌナズナの翻訳解析 塚田遊磨¹, 栗原志夫^{2,4}, 藤田由布子³, 河内正治⁴, 松井南⁴, 渡邊雄一郎¹(¹東大・教養, ²東大・総合文化, ³前橋工科大・工, ⁴理研・環境資源)</p>	<p>1pD05 ペタレインを合成するナデシコ目植物における潜在的なアントシアニン合成能 作田正明^{1,4}, 田中明日香¹, 岩瀬おおり¹, 宮坂美月¹, 市木祥子¹, 畑井美穂¹, 井上依子¹, 山上あゆみ², 中野雄司², 由田和津子¹, 嶋田勢津子³(¹お茶の水大・生命科学, ²京大・院生命科学, ³理研・CSRS, ⁴明治大・研究知財)</p>	<p>1pE05 クチクラはアブラナ科花粉の発芽プロセスを抑制することで種間生殖障壁として機能する 加藤義彦^{1,2}, 木村友香¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3}(¹東大院・農生, ²JST さきがけ, ³サントリー-SunRISE)</p>
15:15	<p>1pA06 強力な UV-A 照射を用いた光化学系 II の光阻害解析 小島俊太, 西山佳孝(埼玉大・院理工学)</p>	<p>1pB06 気孔タイプ ALMT の輸送機能の解析 佐々木孝行, 山本洋子, 森泉(岡山大・資源植物科学研究科)</p>	<p>1pC06 シロイヌナズナ <i>drol1</i> 変異株のサブレッサーの探索 鈴木孝征, 丹羽智子, 小野凱生, 荒牧大介, 伊藤佑真, 稲波右里子, 井上樹(中部大・応用生物)</p>	<p>1pD06 ㊦ Characterization of tomato high sugar mutant <i>hs1</i> Shaoze Yuan, Islam M Y Abdellatif, Siyan Xu, Tohru Ariizumi, Hiroshi Ezura, Kenji Miura (Graduate School of Life and Earth Science, University of Tsukuba)</p>	<p>1pE06 アブラナ科種間不和合性因子 SPR11 におけるシステイン残基の生化学的な機能解析 田所駿¹, 加藤義彦^{1,2}, 石田翔太¹, 木村友香¹, 高山誠司¹, 藤井壮太^{1,3}(¹東大院・農生, ²JST さきがけ, ³サントリー-SunRISE)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 B	システム生物学	植物×土壌×微生物の人工デザインで地球温暖化を止める (14:00-17:00)	新技術開発	Circadian and Seasonal Mechanisms in Plant Development and Physiology (14:00-17:00)	
<p>1pF01 近赤外フェムト秒レーザーを用いた Ca²⁺ シグナル伝達の観察 飛田拓海¹, 椎名謙介¹, 友井拓実^{2,3}, 壁谷幸子⁴, 長谷部光泰^{4,5}, 豊田正嗣⁶, 早崎芳夫⁷, 長谷川智士⁷, 玉田洋介^{1,3,4,5,7,8} (1宇都宮大・院地域創生, 2宇都宮大・イノベーション支援, 3宇都宮大・工, 4基生研・生物進化, 5総研大・生命科学, 6埼玉大・理, 7宇都宮大・CORE, 8宇都宮大・REAL)</p>	<p>1pG01 ブラシノステロイド受容体を介した組織再生の分子機構 張輝, 吹田宗樹, 高橋直紀, 梅田正明 (奈良先端大・先端科学)</p>	<p>1pH01 Rhizosphere frame を用いた根粒ライイメーキング 西田帆那, 下田宜司, 今泉 (安楽) 温子 (農研機構・生物機能利用研究部門)</p>	<p>1pI01 イネにおける遺伝子発現予測のためのサンプリング条件の最適化 永壽暖¹, 前田太郎², 大久保智司³, 鹿島誠⁴, 京極大助⁵, 橋田庸一⁶, 森直哉⁸, 渡邊博之⁸, 安達俊輔⁴, 永野博^{2,3}, 富田勝^{1,2} (1慶應大・環境情報, 2慶應大・IAB, 3龍谷大・食農研, 4農工大・農院, 5青学大・理工, 6ひとはく・生医, 7高健大・農, 8玉川大・農, 9東北大学・生命科学)</p>	<p>植物×土壌×微生物の人工デザインで地球温暖化を止める (14:00-17:00)</p>	<p>1pY01 TALE ドメインによる DNA 配列認識を介したシロイヌナズナ核遺伝子の標的塩基置換 細田恵子¹, 中里一星¹, 奥野未来², 伊藤武彦³, 高梨秀樹¹, 堤伸浩¹, 有村慎一¹ (1東大・院農生命, 2久留米大・医, 3東工大・生命理工学院)</p>	<p>シンポジウム S05 Circadian and Seasonal Mechanisms in Plant Development and Physiology (14:00-17:00)</p>	14:00
<p>1pF02 遅延蛍光を用いた過剰被覆ストレス茶樹の樹勢診断技術の評価 小池圭太郎¹, 廣野祐平^{2,3}, 勝又政和⁴, 山下寛人^{1,3}, 一家崇志^{1,3,5} (1静小倉養蚕^{1,2}, 池内桃子² (1新潟大・院自然科学, 2奈良先端大・バイオ)</p>	<p>1pG02 シロイヌナズナにおいてシュート再生を抑制する WOX13 の機能解析 小倉養蚕^{1,2}, 池内桃子² (1新潟大・院自然科学, 2奈良先端大・バイオ)</p>	<p>1pH02 NDRL/HIN1-Like protein 13 はミヤコグサの根粒共生を制御する 山崎明広¹, Kai Battenberg¹, 下田宜司², 林誠^{1,2} (1理研 環境資源科学研究センター, 2農研機構 生物機能利用研究部門)</p>	<p>1pI02 ㊦ The coexpression map provides an entry point for exploring gene coexpression space in ATTED-II v11 Takeshi Obayashi (Tohoku Univ)</p>		<p>1pY02 高活性型塩基置換酵素を用いた, シロイヌナズナの葉緑体ゲノムの標的塩基編集 中里一星, 堤伸浩, 有村慎一 (東大院・農生)</p>		14:15
<p>1pF03 酸素の時空間的イメージング: 2 次元酸素オプトラードによるイネの冠水芽発一発根過程における酸素動態の可視化 芝田菜子¹, 越出見子¹, Morten Larsen², 岩崎和也¹, 深尾武司¹, 小栗一将², Ronnie N. Glud², 塩野克宏¹ (1福井県立大・院生物資源学, 2南デンマーク大・HADAL & Nordcee)</p>	<p>1pG03 直接シュート再生における表皮細胞リプログラミングのシングルセルトランスクリプトーム解析 森中初音¹, 石東博^{1,2}, 河村彩子¹, 間宮章仁³, 玉置裕章⁴, 鈴木孝征⁵, 岩瀬哲¹, 東山哲也⁴, 杉山宗隆⁴, 杉本慶子^{1,4} (1理研・CSRS, 2ポツダム大学・生化学・生物学研究所, 3神戸大・院・理・生物, 4東京大・院・理・生物科学, 5中部大・応用生物・応用生物化学)</p>	<p>1pH03 ㊦ Functional diversity and phylogenetic classification of lysin motif receptor-like kinases (LysM-RLKs) in land plants Hafijur Ruman¹, Masanori Saito², Yasuyuki Kawaharada^{1,2} (1United Grad. Sch. of Agri. Sci. Iwate Uni., 2Dep. of Plant Bio. Fac. of Agri. Iwate Uni.)</p>	<p>1pI03 根圏微生物叢の制御によるトマト初期生育の改良 青木裕一^{1,2}, 山崎真一¹, 中安大³, 金井忠子³, 海田のみ⁴, 藤井義晴⁴, 杉山暁史³ (1東北大・ToMMo, 2東北大・院情報科学, 3京都大・生存研, 4東京農工大)</p>		<p>1pY03 シロイヌナズナのオルガネラゲノムにおけるランダム変異導入の試み 原田佳樹, 中里一星, 堤伸浩, 有村慎一 (東京大学大学院 農学生命科学研究科)</p>		14:30
<p>1pF04 水陸両生植物 <i>Hydrophila difformis</i> における水没後の葉の解剖学的特性の変化 堀口元気¹, 溝上祐介¹, 廣津直樹², 野口航¹ (1東京薬科大・生命科学, 2東洋大・生命科学)</p>	<p>1pG04 分化した葉肉細胞におけるリプログラミングの分子機構 坂本優希^{1,2}, 前村彩子², 鈴木孝征³, 瀬上紹嗣^{4,5}, 河島正義³, Stefanie Polyn^{6,7}, Lieven De Veylder^{6,7}, 杉本慶子^{1,2} (1東京大・院・理・生物科学, 2理研・環境資源科学, 3中部大・応用生物, 4基生研, 5総研大, 6Ghent大学, 7Plant Sys. Biol., VIB-UGhent)</p>	<p>1pH04 ミヤコグサにおける根粒の着生制御と水分管理 川出健介^{1,2,3}, 杉浦大輔⁴, 及川彰^{3,5}, 川口正代司^{1,2} (1基生研・共生システム, 2総研大・生命科学, 3理研 CSRS, 4名大・院・生命科学, 5京大・院・農)</p>	<p>1pI04 特定の植物に特異的な未知代謝物を探索できるデータベース 櫻井望^{1,2,3}, 山崎真一⁴, 須田邦裕², 細木藍¹, 秋元奈弓², 高橋春弥⁵, 柴田大輔², 青木裕一^{4,6} (1遺伝研・DDBJセンター, 2かずさDNA研, 3さくら科学, 4東北大・ToMMo, 5京都大院・農, 6東北大院・情報科学)</p>		<p>1pY04 ㊦ Targeted-base editing by TALE-based adenine deaminases for organelle genomes in Arabidopsis Chang Zhou, Issei Nakazato, Yoshiko Tamura, Reiko Masuda, Nobuhiro Tsutsumi, Shin-ichi Arimura (Grad. Agri., Univ. Tokyo)</p>		14:45
<p>1pF05 局所的に導入された HLH 因子は、非形質転換細胞の協調的な伸長を制御する 竹内洋輔¹, 戸澤譲¹, 池田美穂^{1,2} (1埼玉大・理工, 2福井県大・生物資源)</p>	<p>1pG05 ㊦ Light signals determine the new meristem fate during <i>de novo</i> organogenesis in <i>Arabidopsis thaliana</i> Yu Chen^{1,2}, David Favero², Ayako Kawamura², Takamasa Suzuki³, Keiko Sugimoto^{1,2} (1Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo, 2CSRS, RIKEN, 3Col. Biosci. Biotech., Chubu Univ.)</p>	<p>1pH05 硝酸態窒素による根粒形成制御に関わる自然変異の同定 伊藤百代¹, 番場大², 陳漢謀¹, 野崎翔平^{1,3}, 田島由理¹, 三浦謙治^{1,3}, 佐藤修正², 齋崎拓哉^{1,3} (1筑波大・生命環境, 2東北大・院生命科学, 3筑波大・T-PIRC)</p>	<p>1pI05 万物メタボロームレポジトリを活用した植物の代謝情報とゲノム情報の関連解析 山崎真一¹, 櫻井望^{2,3,4}, 須田邦裕³, 細木藍¹, 秋元奈弓², 高橋春弥⁵, 柴田大輔², 青木裕一^{1,6} (1東北大・ToMMo, 2遺伝研・DDBJセンター, 3かずさDNA研, 4さくら科学, 5京都大院・農, 6東北大院・情報)</p>		<p>1pY05 サブサイター tRNA をスパーサーとしたポリシストロニックな tRNA-gRNA 前駆体のプロセシングの解析 赤間一仁¹, 湯川泰² (1島根大・生資・生命科学, 2名古屋市大・院自然科学)</p>		15:00
<p>1pF06 陸上植物の活性酸素種生成酵素 Rboh の高度に保存されたセリン残基のリン酸化と Ca²⁺ 結合による活性制御の分子機構 橋本貴史¹, 橋本研志¹, 宮川拓也², 田之倉優³, 村津和幸¹ (1東理大・院応用生物科学, 2京都大・院生命科学, 3東京大・院農学生命科学)</p>	<p>1pG06 水陸両生植物 <i>Rorippa aquatica</i> の茎生葉上の新奇分裂組織を用いた栄養繁殖 池松朱夏^{1,2}, 佐々木亜美¹, 天野瑠美¹, 坂本智昭^{1,2}, 木村成介^{1,2} (1京産大・生命, 2京産大・生進進化発生生物学研究センター)</p>	<p>1pH06 根粒形成を促進する鍵転写因子の DNA 結合特性に関する研究 野崎翔平^{1,2,3}, 野田桃菜², 三浦謙治^{1,2,3}, 齋崎拓哉^{1,2,3} (1筑波大・生命環境系, 2筑波大・生物学類, 3筑波大・T-PIRC)</p>	<p>1pI06 SSBD:repository/database:バイオイメージングデータのグローバルなデータ共有 京田耕司¹, 糸賀裕弥¹, 王放放^{1,2}, 山縣友紀^{1,2}, 遠里由佳子³, 大浪修一^{1,2} (1理研BDR, 2理研R-IH, 3立命館大)</p>		<p>1pY06 ㊦ Precise <i>in planta</i> genome editing via homology-directed repair in wheat Weifeng Luo¹, Rintaro Suzuki¹, Ryojo Imai^{1,2} (1Institute of Agrobiological Sciences, NARO, 2Faculty of Life and Environmental Sciences, Univ. Tsukuba)</p>		15:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月15日(水) 午後(14:00-17:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	生体膜・イオン・物質輸送	ゲノム機能・遺伝子発現制御	特化(二次)代謝	生殖
15:30	<p>1pA07 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 光化学系IIの強光順化におけるカロテノイド配糖体の役割 恩田萌花¹, 海發育実², 出原太智¹, 高市真一³, 西山佳孝^{1,2} (1)埼玉大・院理工学, (2)埼玉大・理・分子生物, (3)東京農大・分子微生物)</p>	<p>1pB07 シロイヌナズナ KUP9 を介した K⁺ 分配機構の解析 山梨太郎¹, 内山剛志¹, 齋藤俊也¹, 東大起¹, 池田隼人^{2,3}, 菊永英寿², 山上睦¹, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹ (1)東北大院・工学研究科, (2)東北大学電子光物理学研究センター, (3)東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター, (4)環境科学研究所)</p>	<p>1pC07 pre-mRNA スプライシング制御を介したサイトカニン依存的な細胞増殖・分化能制御の分子機構 竹内亜美¹, 永宮研二², 池田拓之², 大林祝², 杉山宗隆², 大谷美沙都^{1,3,4} (1)東大・院・新領域, (2)東大・院・理, (3)奈良先端大・バイオ, (4)理研・CSRS)</p>	<p>1pD07 ダイズの硫黄欠乏応答遺伝子の機能解析 家田愛菜, 幹隆之, 渡邊むつみ (奈良先端大・先端科学技術)</p>	<p>1pE07 改変型低分子 RNA 導入によるアブラナ科植物の花粉個自家不和合性因子の共劣性化 小林利紗¹, 和田七夕子¹, 片岡修¹, 押井夏海¹, 安田晋輔¹, 柴博史², 高山誠司³, 伊藤寿朗¹ (1)奈良先端大・先端科学技術・バイオ, (2)筑波大・理・生物科学, (3)東京大・農・応用生命科学)</p>
15:45	<p>1pA08 ㊦ Improved capacity of photosystem II for minimizing photoinhibition via modification of translation and antioxidative systems in <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 Pornpan Napaumpaiporn, Yoshitaka Nishiyama (Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)</p>	<p>1pB08 Na⁺/H⁺ アンチポーター SOS1 を組織特異的に発現させたシロイヌナズナにおけるナトリウム耐性評価 名兒耶美緒, 永田知輝, 小倉尚晃, 栗田悠子, 小林奈通子, 田野井慶太郎 (東大・院農)</p>	<p>1pC08 U5 snRNP サブユニット Dim1 ホモログは栄養ストレス応答に関与する 石橋鴻大¹, 荒江星拓¹, 吉積毅², 栗原志夫^{2,3}, 黒森崇², 松井南², 大谷美沙都^{1,2} (1)東京大・院・新領域, (2)理研・CSRS, (3)東京大・院・総合文化)</p>	<p>1pD08 VIGS を用いたハウレンソウの低シユ酸化に寄与する遺伝子の探索 市川翔哉¹, 石橋和夫², 古庄律³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオ, (2)農研機構, (3)東京農大・食農)</p>	<p>1pE08 ㊦ Identification of a novel U-chromosomal gene required for egg cell differentiation in <i>Marchantia polymorpha</i> Yen-Ting Lu¹, Yihui Cui¹, Masaki Shimamura², Sakiko Ishida¹, Tomoaki Kajiwara³, Tetsuya Hisanaga^{1,4}, Takayuki Kohchi³, Tatsunaki Goh¹, Keiji Nakajima¹ (1)Grad. Sch. Biol. Sci., NAIIST, (2)Grad. Sch. Integr. Sci. Life, Hiroshima Univ., (3)Grad. Sch. Biostudies, Kyoto Univ., (4)Gregor Mendel Institute)</p>
16:00	<p>1pA09 多様な木本植物の光化学系II光損傷速度および修復速度に関する研究 辻祥子¹, 上妻馨梨², 落合久美子¹, 伊福健太郎¹, 彦坂寺毅³ (1)京都大・農学, (2)東京大・院理学, (3)北大・院生命科学)</p>	<p>1pB09 ショ糖がジベレリンか?—二つの基質の輸送活性を切り分けた SWEET13 の機能解明 磯田玲壘¹, Zoltan Palmai¹, 吉成晃¹, Li-Qing Chen², Florence Tama^{1,3,4}, Wolf B. Frommer^{1,5}, 中村匡良¹ (1)名大・ITbM, (2)イリノイ大・Dept. Plant Biol., (3)名大・院理学, (4)理研・R-CCS, (5)HHU, Mol. Physiol.)</p>	<p>1pC09 シロイヌナズナのポリ A 分解酵素 AtCCR4 とその相互作用因子 RNA 結合タンパク質 APUM による発現制御 千葉由佳子^{1,4}, 倉地草太¹, 川合浩輔¹, 岩村駿斗¹, 荒江星拓², 鈴木孝征², 今堀莉子¹, 大谷美沙都² (1)北大・院・生命, (2)東大院・新領域, (3)中部大・応用生物, (4)北大・理)</p>		<p>1pE09 ゼニゴケ受精卵におけるライブイメージング法の確立 中村聡達¹, 木全祐資¹, 佐藤良勝^{2,3}, 植田美那子¹ (1)東北大・院生命科学, (2)名古屋大・WPI-ITbM, (3)名古屋大・院理学)</p>
16:15	<p>1pA10 P700 酸化抑制に伴う鉄/硫黄クラスターの還元状態の増大は, シロイヌナズナの PSI 不活性化を引き起こす 前河愛¹, 古谷史侑^{1,3}, 和田慎也^{1,3}, 伊福健太郎^{2,3}, 三宅親弘^{1,3} (1)神戸大・院・農, (2)京都大・院・農, (3)CREST/JST, (4)神戸大・農)</p>	<p>1pB10 シロイヌナズナ亜鉛輸送体 IAR1 変異体のトランスクリプトームおよびホルモン解析 河内美樹¹, 小嶋美紀子², 竹林裕美子², 榎原均^{1,2} (1)名大・生命農, (2)理研・CSRS)</p>	<p>1pC10 シロイヌナズナの脱アデニル化酵素 AtCCR4 によるポリ A 鎖長を介した遺伝子発現制御 徳中駿¹, 荒江星拓^{1,2}, 高松世大¹, 豊田敦³, 千葉由佳子^{1,4} (1)北大・院・生命, (2)東大院・新領域, (3)国立遺伝研, (4)北大・理)</p>		<p>1pE10 ゼニゴケ精子における cAMP 合成・分解酵素遺伝子 CAPE の機能 山本千愛¹, 高橋文雄¹, 山田和正², 吉川伸哉², 末次憲之³, 笠原賢洋¹ (1)立命館大・院・生命, (2)福井県大・海洋生物資源, (3)東大・院・総合文化)</p>
16:30	<p>1pA11 P700 の酸化を制御する鉄硫黄タンパク質 TCR の循環的電子伝達に果たす役割 佐野野明, マイデュイルートリン, 増田真二 (東京工業大学・生命理工学院)</p>	<p>1pB11 植物におけるフラビン輸送体の同定と生理機能解析 委田日佳里¹, 永井文菜², 丸田隆典^{1,2}, 石川孝博^{1,2}, 小川貴央^{1,2} (1)鳥根大院・自然科学, (2)鳥根大・生資料・生命科学)</p>	<p>1pC11 シロイヌナズナの時計遺伝子 LHY における複数の uORF を介した光依存的な翻訳制御 青山悠¹, 伊勢由麻¹, 高橋明格², 山本雅², 千葉由佳子^{1,3} (1)北大・院生命科学, (2)沖繩科学技術大学院大学, (3)北海道大・院理学研究院)</p>		<p>1pE11 ゼニゴケ (<i>Marchantia polymorpha</i>) の精子走化性における EF-hand タンパク質遺伝子 MpCAPS の機能解析 森田瑞生¹, 大和勝幸² (1)近畿大学生物理工学研究科 生物工学専攻, (2)近畿大学生物理工学部 生物工学科)</p>
16:45	<p>1pA12 シロイヌナズナ Rieske ISP の 1 アミノ酸変異 <i>pgvJ</i>^{E143K} はシトクロム <i>b_f</i> 複合体の pH 感受性を変更する 小林亮平, 鹿内利治 (京大・院理学)</p>				<p>1pE12 タイ類ゼニゴケ属における生殖隔離機構 石井結香, 嶋村正樹 (広島大・院・統合生命科学)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 B	システム生物学	植物×土壌×微生物の人工デザインで地球温暖化を止める (14:00-17:00)	新技術開発	Circadian and Seasonal Mechanisms in Plant Development and Physiology (14:00-17:00)	
<p>1pF07 シロイヌナズナのストレス応答性転写因子の翻訳後制御に関わるプロテインキナーゼの同定 中澤透子¹, 杉本蒼¹, 高橋亮輔¹, 船守晴帆¹, 高橋史憲², 中道範人^{3,4}, 木下俊則^{3,4}, 篠崎一雄², 篠崎和子^{1,5}, 瀧井順哉¹(¹東大院・農学生命科学, ²理研・環境資源科学研究セ, ³名大 ITbM, ⁴名大院・理, ⁵東京農大・農生命科学研)</p>	<p>1pG07 ヒメツリガネゴケにおける ABA による不等分裂から等分裂への切り替え 神野智世¹, Marcel Pascal Beier², 廣口寛彦³, 中村康平¹, 鈴木稜⁴, 藤田知道³(¹北海道大・院生命科学, ²北海道大・高機構, ³北海道大・院理, ⁴東大・創域)</p>	<p>1pH07 根粒形成の鍵転写因子 NIN の機能未知領域に関する研究 野田桃菜¹, 西田帆那², 伊藤百代³, 壽崎拓哉^{1,3,4}(¹筑波大・生物学類, ²農研機構・生物機能利用研究部門, ³筑波大・生命環境系, ⁴筑波大・T-PIRC)</p>	<p>1pI07 合成生物学の手法を用いた窒素固定共生リコンストラクションの試み 花野遊^{1,2}, 戸松創², 瀧田英司², 大竹興一郎², 梅月穂華³, 平川秀樹², 磯部祥子², 征矢野歌⁴, 壽崎拓哉⁵, 下田宜司⁶, 内海俊樹³, 富永晃好⁷, 舛本寛², 川口正代⁴, 柴田大輔², 佐藤修正¹(¹東北大学生命科学研究科, ²かずさ DNA 研究所, ³鹿児島大学大学院理工学研究科, ⁴基礎生物学研究所共生システム研究部門, ⁵筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター, ⁶農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門, ⁷静岡大学農学部)</p>	<p>シンポジウム S04 植物×土壌×微生物の人工デザインで地球温暖化を止める (14:00-17:00)</p>	<p>1pY07 高複製型レプリコンを利用したイネにおける標的組換えの高効率化 助川聖¹, 横井彩子¹, 土岐精一^{1,2,3,4}, 雅賢啓明¹(¹農研機構 生物機能利用研究部門, ²横浜市大 生命ナノ, ³横浜市大 木原生研, ⁴龍谷大学 農学部)</p>	<p>シンポジウム S05 Circadian and Seasonal Mechanisms in Plant Development and Physiology (14:00-17:00)</p>	15:30
<p>1pF08 昆虫ホルモンによる植物耐塩性機構の解明 佐古香織^{1,2}, 倉田涼花¹, 木村朱夏¹, 堀口茉莉¹, Huong Nguyen Mai², 松井章浩², 田中真帆², 最上今日子², 永野惇^{3,4}, 田茂井政宏¹, 関原明²(¹近大・農, ²理研・CSRS, ³龍谷大・農, ⁴慶應大・IAB)</p>	<p>1pG08  Regulation of developmental phase change in moss <i>Physcomitrium patens</i>, by KAI2-ligand signaling pathway Yi Luo, Yuki Hata, Junko Kyoizuka (Graduate School of Life Sciences, Tohoku University)</p>	<p>1pH08 ミヤコグサ-根粒共生関係における宿主選択性に対するゲノムワイド関連解析 番場大¹, 青木誠志郎², 梶田忠³, 瀬戸口浩彰⁴, 綿野泰行⁵, 土松隆志⁶(¹東北大・院・生命, ²東大・院・創成科学, ³琉大・熱生研・西表, ⁴京大・院・人環, ⁵千葉大・理, ⁶東大・理)</p>	<p>1pI08 ラボでのトランスクリプトームデータを用いた野外植物の温度応答の予測 速水菜月¹, 草野都^{2,3}, 圓山恭之進⁴, 永野惇⁵, 樋口美菜子², 花田耕介⁶, 松井南², 山本義治^{1,2}(¹岐阜大・院連農, ²理研・CSRS, ³筑波大・院生命科学, ⁴国際農林水産業研究センター, ⁵龍谷大・農学, ⁶九州工業大・若手フロンティア研究アカデミー)</p>		<p>1pY08 ペプチドによる葉緑体形質転換とペプチド修飾カーボンナノチューブによるミトコンドリアへの遺伝子送達 小田原真樹¹, Simon Law¹, 堀井陽子¹, 沼田圭司^{1,2}(¹理研・CSRS, ²京大・院工学)</p>		15:45
<p>1pF09 耐塩性シロイヌナズナ Lch-0 が有する耐塩性機構の遺伝学的解明 梶野拓磨¹, 内山佳織¹, 有賀裕嗣², 篠澤章久¹, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ, ²農研機構・遺伝資源)</p>	<p>1pG09 転写伸長過程に着目した幹細胞らしさの生化学的解析 櫻木竜二¹, 池田陽子², 森仁志³(¹京大・院理・生物・植物, ²岡山大・資源植物科学研, ³名大・院生命農・応用生命)</p>	<p>1pH09 クサネム根粒菌 <i>Bradyrhizobium</i> sp. SUTN9-2 の III 型分泌系はミヤコグサとの共生窒素固定を阻害する 橋本駿¹, 後藤混己², Pongdet Pyromyou³, Pongpan Songwattana³, Teerana Greetatorn³, 福田将大², Cui Ying¹, Panlada Tittabut³, Nantakorn Boonkerd³, Neung Teaumroong³, 内海俊樹², 佐藤修正¹(¹東北大・院生命科学, ²鹿児島大・院理工, ³スラナリ工科大)</p>			<p>1pY09 トマトモザイクウイルスの移行タンパク質はトマトの茎での組換えタンパク質の一過性発現を促進する 小林美咲, Martina Bianca Fuhrmann-Aoyagi, 宇主秋良, 三浦謙治(筑波大・院生命地球科学)</p>		16:00
<p>1pF10  Transgenerational salt plasticity improves the salinity-tolerance capacity of salt-sensitive-offspring in rice (<i>Oryza sativa</i> L.) Murat Aycan¹, Lutfun Nahar², Marouane Baslam¹, Toshiaki Mitsui¹(¹Laboratory of Biochemistry, Faculty of Agriculture, Niigata University, Niigata, Japan., ²Department of Life and Food Sciences, Graduate School of Science and Technology, Niigata University, Niigata, Japan.)</p>	<p>1pG10  <i>TAWAWA1</i> regulates meristem phase transition through transcription repression of <i>FZP</i> in rice Haowen Wang¹, Hiroki Tokunaga^{1,2}, Andree Sunanjaya Kusnandar¹, Masashi Shindo¹, Yiling Miao¹, Junko Kyoizuka¹(¹Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ²CSRS, RIKEN)</p>	<p>1pH10 根粒形成過程における根粒菌 NopC エフェクターによる宿主植物制御 高橋裕史, 宮内桜蘭, 關正人, 川原田泰之(若手大・農)</p>			<p>1pY10  Application of in planta transformation of <i>Kalanchoe</i> species Yuhan Guo¹, Masaaki K. Watahiki^{1,2}(¹Grad. Sch., Life. Sci., Univ. Hokkaido, ²Div. BioSci., Fac. Sci., Univ. Hokkaido)</p>		16:15
<p>1pF11 葉緑体における緊縮応答の不全がサリチル酸を介した病虫害応答を引き起こす 根本岳忠¹, 稲津匡貴¹, 鈴木紗絵¹, 小野すみれ¹, 菅野裕理², 瀬尾光範², 及川彰³, 増田真二¹(¹東工大・生命理工, ²理研・CSRS, ³京大院・農)</p>	<p>1pG11 ゼニゴケの幹細胞動態調節における転写因子 JINGASA の役割 高橋剛, 清未知宏, 平川有宇樹(学習院大・院自然)</p>				<p>1pY11  Transient expression using the <i>Tsukuba</i> System in soybean Martina Bianca Fuhrmann-Aoyagi¹, Misaki Kobayashi¹, Kenji Miura^{1,2}(¹Graduate School of Life and Earth Sciences, University of Tsukuba, ²Tsukuba-Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba)</p>		16:30
<p>1pF12 ホップの環境ストレス耐性を強化する低分子化合物の同定 平川健, 丹野星亜(キリンホールディングス(株)・キリン中央研)</p>	<p>1pG12 ゼニゴケの細胞分裂パターン・細胞周期進行における Rboh により生成される ROS の役割と下流の遺伝子ネットワーク 山下優音¹, 萩原雄樹¹, 橋本研志¹, 鈴木秀政², 西浜竜一¹, 朽津和幸¹(¹東京理科大・理工・応用生命科学, ²東北大・院・生命科学)</p>						16:45

 = 発表の言語は英語

● 第2日 3月16日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	生体膜・イオン・物質輸送	オルガネラ/細胞骨格	特化(二次)代謝	生殖
09:00	<p>2aA01 光合成生物に保存されたシアノバクテリアの生育に必須な新規機能未知遺伝子の機能解析 城取良樹¹, 厚沢季美江², Egi Tritya Apdila³, 金子康子², 栗井光一郎³, 得平茂樹¹(¹東京都立大・院・理学, ²埼玉大・院・理工, ³静岡大・院・理学)</p>	<p>2aB01 マグネシウム含量の低いイネ変異体の解析と原因遺伝子 <i>OsRZF1</i> の同定 小林奈通子¹, 高木宏樹², 楊笑雨¹, 横井彩子³, 瀬川天太², 星名辰信¹, 大西孝幸⁴, 鈴木寿⁵, 岩田錬⁶, 土岐精一^{3,7,8}, 中西友子¹, 田野井慶太郎¹(¹東大院・農, ²石川県立大, ³農研機構・生物研, ⁴宇都宮大・農, ⁵量研機構, ⁶東北大・CYRIC, ⁷龍谷大・農, ⁸横浜市大・木原生研)</p>	<p>2aC01 ㊦ A novel introgression of rice mitochondrial genome into wheat genome through IVF system Tety Maryenti¹, Shizuka Koshimizu^{3,4}, Kentaro Yano³, Takayoshi Ishii², Takashi Okamoto¹(¹Grad. Sch. Sci., Tokyo Met. Univ., ²Arid Land Res. Cent., Tottori Univ., ³Sch. Agr., Meiji Univ., ⁴Dept. Informatics, NIG)</p>	<p>2aD01 早生品種金兵衛のギンナン色素組成の薄層クロマトグラフィーによる解析 内田美重¹, 鏡山数磨¹, 井上和仁^{2,3}, 堤浩一¹, 内田英伸^{1,2}(¹名古屋文理大・フードビジネス, ²神奈川大・総理研, ³神奈川大・理・生物)</p>	<p>2aE01 ㊦ The plant-specific <i>Arabidopsis</i> VPS13a mediates polarized vesicle trafficking during pollen germination Surachat Tangpranomkorn¹, Motoko Igarashi², Fumiko Ishizuna³, Yoshinobu Kato^{1,4}, Takamasa Suzuki⁵, Sota Fujii^{1,6}, Seiji Takayama¹(¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo, Tokyo, ²Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology, Nara, ³Department of Human Life Science and Design, Faculty of Contemporary Human Life Science, Tokyo Kasei Gakuin University, Tokyo, ⁴JST, PRESTO, ⁵Graduate School of Bioscience and Biotechnology, Chubu University, Aichi, ⁶Suntory Rising Stars Encouragement Program in Life Sciences)</p>
09:15	<p>2aA02 鉄と光によって制御されるシアノバクテリアのフィコビリソーム 久布白睦実, 大津卓人, 浴俊彦, 広瀬佑(豊橋技科大・工)</p>	<p>2aB02 イネのケイ素吸収を制御する長距離シグナルタンパク質の同定 山地直樹, 三谷奈見季, 小西範幸, 馬建録(岡山大・植物研)</p>	<p>2aC02 シロイヌナズナの重金属ストレス耐性におけるミトコンドリア RNA 編集の役割 旭文輝, 三沢昂輝, 澤井里歩, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一(東京農大・院・バイオ)</p>	<p>2aD02 ㊦ Changes in free volatile compounds of different tomato cultivars fruits which grow in different years Yingtao Li¹, Yusuke Kamiyoshihara², Yusuke Aono¹, Denise Tieman³, Harry Klee³, Miyako Kusano^{4,5,6}(¹Degree Programs in Life and Earth Sciences, University of Tsukuba, ²College of Bioresource Sciences, Nihon University, ³Department of Horticultural Sciences, University of Florida, ⁴Faculty of life and environment science, University of Tsukuba, ⁵Tsukuba Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, ⁶RIKEN Center for Sustainable Resource Science)</p>	<p>2aE02 花柱のシステインリッチペプチドがもたらすシロイヌナズナの多次元種間障壁 三浦大樹¹, 木村友香¹, 和田セツ子², 高山誠司⁴, 藤井壮太^{1,3}(¹東大院・農生, ²奈良先端大, ³サントリー-SunRISE フェロー)</p>
09:30	<p>2aA03 補色順化におけるフィコビリソームの構造変化の解析 大津卓人¹, 川端悠³, 久布白睦実⁴, 宋致敏², 浴俊彦¹, 村田和義², 広瀬佑¹(¹豊橋技科大・院・工, ²生命創成探究センター, ³総合研究大学院大学, ⁴豊橋技科大・工)</p>	<p>2aB03 ICP-MSによるシロイヌナズナ分泌液のイオン組成解析 八木宏樹¹, 吉田善葵², 三原衣織², 高見常明³, 坂本亘³, 嶋田知生⁴, 西村いくこ², 上田晴子^{1,2}(¹甲南大・院・自然科学, ²甲南大・理工, ³岡山大・植物研, ⁴京都市大・院・理)</p>	<p>2aC03 ドミナントネガティブ変異をもつ ACTIN8 の部位特異的な発現が植物の姿勢復元力を抑制する 三宅唯月¹, 八木宏樹^{1,2}, 豊倉浩一³, 嶋田知生⁴, 西村いくこ², 上田晴子^{1,2,5}(¹甲南大・院・自然科学, ²甲南大・理工, ³京大・院・理, ⁴甲南大・統合ニューロ)</p>	<p>2aD03 バスウェイスケールのゲノム編集で明らかにするユーグレナのカロテノイド生合成経路 玉木峻¹, 野村俊高^{1,2}, 石川まるみ¹, 山田康嗣^{1,3}, 鈴木健吾^{1,3}, 持田恵一^{1,2,4,5}(¹理研・BZP, ²理研・CSRS, ³(株)ユーグレナ, ⁴横浜市大, ⁵長崎大)</p>	<p>2aE03 受容体シグナリングの活性化因子 RopGEF を介した花粉管機能の制御機構の解析 内木希美¹, 東山哲也², 武内秀憲²(¹名大・院・理, ²東大・院・理, ³名大・ITbM)</p>
09:45	<p>2aA04 シアノバクテリア細胞膜間の光依存的な H⁺ 輸送による細胞内 pH 制御 越後直¹, 稲子晴也¹, 近藤久益子², 久堀公毅², 増田真二¹(¹東工大・生命理工, ²東工大・化生研)</p>	<p>2aB04 シロイヌナズナ排水組織から排出される分泌液は分泌タンパク質を含む 吉田善葵¹, 三原衣織¹, 三城恵美², 佐藤伸哉², 加納圭子², 嶋田知生³, 西村いくこ¹, 上田晴子^{1,4}, 八木宏樹⁴(¹甲南大・理工, ²名古屋大・WPI-ITbM, ³京都市大・院・理, ⁴甲南大・院・自然科学)</p>	<p>2aC04 シロイヌナズナ花茎の伸長過程における MYOSIN XI の発現パターン 岡村さとこ¹, 林杏樹¹, 八木宏樹², 西村いくこ², 上田晴子^{1,2}(¹甲南大・理工, ²生物, ³甲南大・院・自然科学)</p>	<p>2aD04 植物において独立に分子進化した芳香族基質プレニル化酵素の間で類似する部位特異性制御機構 韓俊文¹, 棟方涼介¹, 高橋宏暢², 肥塚崇男³, Alain Hehn⁴, 矢崎一史¹(¹京大・生存研, ²徳島文理大・薬, ³山口大院・創成科学, ⁴仏・ロレーヌ大/INRAE)</p>	<p>2aE04 雌性配偶体で発現する遺伝子の同定とその機能の解析 金岡雅造(京立広島大学生物資源科学部)</p>
10:00	<p>2aA05 光合成電子伝達鎖のレドックス状態に依存した転写因子 RpaB の DNA 結合活性制御機構の解明 碧田和宣¹, 加藤直喜¹, 門脇太郎¹, 園田公毅², 日原由香子¹(¹埼玉大・院理工, ²早稲田大・教育・生物)</p>	<p>2aB05 ㊦ SEN1 is responsible for molybdate transport into nodule symbiosomes for nitrogen fixation in <i>Lotus japonicus</i> Qingnan Chu¹, Tsunoe Hakoyama², Makoto Hayashi², Kiminori Toyooka², Mayuko Sato², Takehiro Kamiya¹, Toru Fujiwara¹(¹Grad. Sch. Agric. Life Sci. Univ. Tokyo, ²RIKEN CSRC)</p>	<p>2aC05 シロイヌナズナのサブクラスIアクチン脱重合因子は細胞核内構造と遺伝子発現を制御する 松本朋子¹, 檜垣匠², 高塚大知³, 朽名夏磨⁴, 尾形義之⁵, 馳澤盛一郎⁶, 梅田正明⁷, 稲田のりこ⁵(¹大阪府大・院・生命環境, ²熊大・院・先端科学, ³金沢大・理工, ⁴エルビクセル株式会社, ⁵大阪大・農, ⁶法政大・院・理工, ⁷奈良先端大・先端科学)</p>	<p>2aD05 柑橘クマリン代謝に関与する UbiA 型プレニル化酵素遺伝子クラスターの解析 松下修平¹, 棟方涼介^{1,2}, 松川哲也^{3,4}, Alain Hehn⁵, 矢崎一史¹(¹京大・生存研, ²JST さきがけ, ³近大・附属農場, ⁴近大・生物理工, ⁵ロレーヌ大/INRAE)</p>	<p>2aE05 精細胞を包む特殊膜構造が示す花粉感破裂と同調した膜崩壊の解析 杉直也¹, 泉理恵¹, 須崎大地¹, 海老根一生², 木下哲¹, 丸山大輔¹(¹横浜市立大・木原生物学研究所, ²基礎生物学研究所)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 A	新技術開発				
2aF01 短日によるポプラ根の休眠誘導における microRNA の機能 廣園慎也, 小野公代, 松澤社太郎, 古川純, 小野道之, 佐藤忍 (筑波大・院生命環境)	2aG01 苔類の雌雄同株アカゼニゴケと雌雄異株ゼニゴケの性分化制御機構の比較解析 安尾佳季子 ¹ , 田中知葉 ¹ , 井上慎子 ¹ , 嶋村正樹 ² , 河内孝之 ¹ (1京都大・院・生命科学, 2広島大・院・統合生命科学)	2aH01 AGL24 を介した菌による性決定経路の乗っ取り 藤田尚子, 赤木剛士 (岡山大・環境生命科学)	2aI01 シロイヌナズナにおけるヒストン修飾 H3K4me3 のライブイメージング技術の確立 松岡慈 ¹ , 坂本卓也 ² , 澁田未央 ³ , 佐藤優子 ⁴ , 木村宏 ⁴ , 松永幸大 ¹ (1東大・院・新領域・先端生命, 2東理大・理工・応用生物, 3山形大・理, 4東工大・科学技術創成研究院)	シンポジウム S06 P700 酸化を通してみた環境ストレスの世界 (9:00-11:10)	データベース講習会 (9:00-12:00)	シンポジウム S07 Japan-Singapore Binational Symposium: Plant Science & Precision Agriculture (9:00-11:50)	09:00
2aF02 マイクロ流路デバイスを用いた miRNA の検出による植物栄養ストレス診断法の開発 川勝弥一 ¹ , Michitaka Notaguchi ^{1,2} (1名古屋大 生物機能開発利用研究センター, 2名古屋大学大学院 生命農学研究科)	2aG02 MpBZR3 はゼニゴケの配偶子器発生を制御する 古谷朋之 ^{1,2} , 三枝菜摘 ³ , 山岡尚平 ³ , 山本千愛 ¹ , 島津舜治 ^{2,4} , 南野尚紀 ⁵ , 西浜竜一 ^{3,6} , 石崎公庸 ² , 上田貴志 ⁵ , 深城英弘 ² , 河内孝之 ³ , 笠原賢洋 ¹ , 福田裕穂 ^{4,7} , 荒木崇 ³ , 近藤侑貴 ² (1立命館大・生命, 2神戸大・院・理, 3京大・院・生命, 4東大・院・理, 5基生研・細胞動態, 6東京理科大・理工, 7京都先端大・バイオ環境)	2aH02 ウイルス感染によるハクサンハタザオの成長阻害と遺伝子発現応答に対する低温の効果 本庄三恵 ¹ , 榮村奈緒子 ^{1,2} , 神谷麻梨 ^{1,3} , 工藤洋 ¹ (1京大・生態研セ, 2鹿大・農, 3京大・IPS細胞研究財団)	2aI02 植物細胞で膜タンパク質のトポロジーをバイオイメージングで評価する 西村浩二, 難波鈴奈, 宮武舞, 吉田昇平 (鳥根大・生資料)				09:15
2aF03 オオムギ根端で高 pH により発現誘導される NRT2 と MADS-box 転写因子をコードする遺伝子の解析 宮内茜里, 樋口恭子, 齋藤彰宏 (東農大・農芸化学)	2aG03 ゼニゴケにおける日長に応答した生殖成長移行の miR529c-SPL2 モジュールによる制御機構の解析 穴田小恵, 富田由紀, 井上佳祐, 山岡尚平, 荒木崇 (京都大・院生命科学)	2aH03 カブモザイクウイルスがハクサンハタザオアブラムシ相互作用に与える影響とその原因遺伝子の探索 大坪雅, 工藤洋, 本庄三恵 (京大・生態研セ)	2aI03 葉緑体間相互作用を人工的に制御するオルガネラグルー技術の開発 市川晋太郎 ^{1,2} , 加藤翔太 ¹ , 藤井雄太 ¹ , 石川一也 ^{1,3} , 沼田圭司 ^{4,5} , 児玉豊 ^{1,2,5} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生, 3岡山大・院医歯薬, 4京大院・工学研究科, 5理研・CSRS)				09:30
2aF04 低温強光 UV-B 応答を全て担うシロイヌナズナのシス因子機能ユニット 三田井香葉 ¹ , エゼオケチュクサムスン ² , 速水菜月 ² , 小玉和靖 ¹ , 井内聖 ³ , 山本義治 ^{1,2,4,5} (1岐阜大・院自然研, 2岐阜大連農, 3理研BRC, 4岐阜大・応用生物科学部, 5理研CSRS)	2aG04 ROP シグナル伝達系によるゼニゴケ形態形成制御メカニズム 酒井友希 ¹ , 米塚広樹 ¹ , 上野亜紀 ¹ , 加藤大貴 ^{1,2} , 三村徹郎 ^{1,3,4} , 近藤侑貴 ¹ , 深城英弘 ¹ , 石崎公庸 ¹ (1神戸大・院・理, 2愛媛大・院・理工, 3東京大・院・農業生命科学, 4国立成功大・生科・科技)	2aH04 E Response and Resistance of Rice towards rice pest Golden Apple Snail <i>Mafrikhul Muttaqin</i> ^{1,2} , Songkui Cui ¹ , Yoichi Yusa ³ , Satoko Yoshida ¹ (1Plant Symbiosis Laboratory, Graduate School of Science and Technology, Nara Institute of Science and Technology, 2Department of Biology, Faculty of Mathematics and Natural Sciences, IPB University, 3Laboratory of Aquatic Ecology, Nara Women's University)	2aI04 オルガネラ接着技術を用いた植物メタボロームの人為的操作の試み 石川一也 ^{1,2} , 小林誠 ³ , 草野都 ^{3,4,5} , 沼田圭司 ^{3,6} , 児玉豊 ^{1,3} (1宇都宮大・バイオセンター, 2岡山大・院医歯薬, 3理研CSRS, 4筑波大・生命環境系, 5筑波大・T-PIRC, 6京大院・工学)				09:45
2aF05 温度不感受変異体 <i>picc</i> , <i>picl</i> の矮性表現型を顕著に示す生育条件 松本崇社 ¹ , 神田優 ¹ , 古本強 ^{1,2} (1龍谷大・院・環境生理学, 2龍谷大・農学)	2aG05 TCP 転写因子による葉の細胞伸長の制御機構の解析 小山知嗣 ¹ , 光田展隆 ² , 関原明 ³ , 高橋宏二 ^{4,5} , 木下俊則 ^{4,5} , 別所歩武 ⁶ , 國枝正 ^{6,7} , 出村拓 ^{6,7} , 高木優 ⁸ (1(公財)サントリー生命科学財団, 2産総研・生物プロセス, 3理研・環境資源科学, 4名大院・理, 5名大・ITbM, 6奈良先端大・バイオサイエンス, 7奈良先端大・デジタルグリーンイノベーションセンター, 8埼玉大院・理工)	2aH05 NBRP トマト野生種コレクションから見出されたトライコム欠損系統は C2H2 ジンクフィンガータンパク質遺伝子に変異を持つ 杉本直二, 中嶋梨花, 有泉亨, 江面浩 (筑波大・T-PIRC)	2aI05 超小型センサによる植物生理応答の長期遠隔モニタリング 上妻馨梨 ^{1,2} , 宮本浩一郎 ³ (1自然科学研究機構アストロバイオロジーセンター, 2東京大学・理・生物, 3東北大学・工)				10:00

E = 発表の言語は英語

● 第2日 3月16日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	生体膜・イオン・物質輸送	オルガネラ/細胞骨格	特化(二次)代謝	生殖
10:15	<p>2aA06 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 におけるパートナースイッチングホスファターゼの解析 角田晴甫¹, 中村隆玖², 日原由香子¹(¹埼玉大・院理工, ²埼玉大・分子生物)</p>	<p>2aB06 リグニンよりなる新規細胞壁構造 Neck strip は, キュウリ分泌性トライコームでアポプラスト障壁として機能する Hao Ning¹, Tao Wu², 藤原徹¹, 神谷岳洋¹(¹東大院・農, ²Hunan Agr. Univ.)</p>	<p>2aC06 ㊦ Actin isovariant ACT2-mediated cellular auxin homeostasis regulates lateral root organogenesis Aya Hanzawa¹, Marika Yamauchi², Abidur Rahman^{1,2,3}(¹U. Grad. Sch. Agri. Sci., Iwate Univ., ²Grad. Sch. Arts and Sci., Iwate Univ., ³Dept. of Plant Biosci., Faculty of Agri., Iwate Univ.)</p>	<p>2aD06 ジャガイモシストセンチュウに対する新規孵化促進物質ソラノエクレピン B の同定とその生合成の解析 秋山遼太¹, 清水宏祐¹, 坂田至², 串田篤彦², 渡辺文太³, 谷野圭持⁴, 杉本幸裕¹, 水谷正治¹(¹神戸大院・農, ²農研機構・北農研, ³慈恵医大・医, ⁴北大院・理)</p>	<p>2aE06 核が除去された花粉管が持つ伸長制御能力とその分子機構の解明に向けて 元村一基^{1,2}, 杉直也³, 竹田篤史¹, 山岡高平⁴, 丸山大輔³(¹立命館大・院生命, ²JST・さきがけ, ³横浜市大・木原生研, ⁴京都大・院生命科学)</p>
10:30	<p>2aA07 アシルプラスチックノールは TLC 上でトリアシルグリセロールの位置に検出される物質の主成分である 毛利奈津美^{1,2}, 吉富徹^{1,3}, 佐藤直樹¹(¹東京大・総合文化, ²龍谷大・農学部, ³物質・材料研究機構)</p>	<p>2aB07 野外ポプラにおける葉位ごとの季節的なシンク-ソース推移の解明 栗田悠子¹, 鹿島誠², 馬場啓一³, 石崎公庸⁴, 小林奈通子¹, 田野井慶太郎¹, 三村徹郎^{4,5}, 永野惇^{6,7}(¹東大・院・農, ²青山学院大・理工, ³京都大・生存研, ⁴神戸大・院・理, ⁵国立成功大・生科・科技, ⁶龍谷大・農, ⁷慶應大・IAB)</p>	<p>2aC07 細胞壁の三次元微細構造を形づくる微細管制御機構 佐々木武馬¹, 斎藤慧^{2,3}, 井上大介⁴, 杉山友希⁵, 鳥本勇太^{2,3}, 小田祥久¹(¹名大・院・理, ²遺伝研・遺伝メカニズム, ³総研大・遺伝学, ⁴九州大・芸術工学, ⁵ケンブリッジ大・セインズベリー研)</p>	<p>2aD07 低分子化合物とシングルセル解析を駆使したゴム培養細胞における天然ゴム生合成メカニズムの解明 栗原(大窪)恵美子¹, 長田恵美¹, 藤田由布子^{1,2}, 川島美香¹, 土田博子¹, 佐藤綾人³, 角房直哉³, 加藤菜々子³, 佐藤蘭子¹, 若崎真由美¹, 豊岡公徳¹, 浜村有希⁴, 松井南¹(¹理研・CSRS, ²前橋工科大学 工学部, ³名古屋大学 トランスフォーメティブ生命分子研究所, ⁴ハインブルグ大学 数学・情報・自然科学部門)</p>	<p>2aE07 ㊦ Rboh-mediated ROS production plays an important role in initiation and progression of male meiosis in rice (<i>Oryza sativa</i>, L) Harsha Somashekar^{1,2}, Hidetaka Kaya³, Shigeru Hanamata⁴, Takamitsu Kurusu⁵, Kazuyuki Kuchitsu⁴, Ken-ichi Nonomura^{1,2}(¹Plant Cytogenetics Laboratory, National Institute of Genetics, ²School of Life sciences, The Graduate University for Advanced studies (SOKENDAI), ³Graduate School of Agriculture, Ehime University, ⁴Department of Applied Biological Science, Tokyo University of Science, ⁵Department of Mechanical and Electrical Engineering, Suwa University of Science)</p>
10:45	<p>2aA08 脂肪酸の鎖長はシアノバクテリアのPSIIの光阻害に影響を及ぼす 末岡一綺, 神保晴彦, 齋藤勝和, 和田元(東大・院総合文化)</p>		<p>2aC08 仮根の成長極性を制御する NIMA 関連キナーゼの相互作用因子 間瀬輝¹, 中神弘史², 高橋卓¹, 本瀬宏康¹(¹岡山大・院・自然, ²マックスプランク植物育種学研究所)</p>	<p>2aD08 両親媒性コポリマーによる可溶性技術を用いたバラゴムノキ (<i>Hevea brasiliensis</i>) の天然ゴム生合成複合体単離 Nadia Nur Shazana Binti Abu Talib Khan¹, 小島幸治¹, 山口晴彦², 三上智世¹, 廣森美樹¹, 和氣駿之¹, 宮城ゆき乃⁴, 山下哲², 戸澤謙², 中山亨¹, 高橋征司¹(¹東北大・院・工, ²金沢大・院・自然科学, ³埼玉大・院・理工, ⁴住友ゴム工業(株))</p>	<p>2aE08 シロイヌナズナの COPII 被覆小胞形成因子 KNS21 の花粉エキシン形成における機能 鍋田紗妃¹, 上木望路¹, 松岡耕汰¹, 中川強², 石黒登衛¹(¹名古屋大・生命農, ²鳥根大・遺伝子)</p>
11:00	<p>2aA09 Δ7 および Δ9 不飽和脂肪酸の <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 の低温順化への影響 小林明日香^{1,2}, Michal Hubáček², Yagut Allahverdiyeva², 鈴木石根³(¹筑波大・理工情報生命科学術院, ²トゥルク大, ³筑波大・生命環境系)</p>		<p>2aC09 3D 再構築画像に基づくオルガネラの細胞内配置と形態の相関解析 緑川景子¹, 兄玉豊^{1,2}, 沼田圭司^{2,3}(¹宇都宮大・バイオセンター, ²理研・CSRS, ³京大・院工学)</p>	<p>2aD09 ニチニチソウの発芽に伴う細胞種特異的なアルカロイド代謝開始過程の解析 齋藤真妃^{1,2}, 森哲哉², 佐藤蘭子², 若崎真由美², 山本浩太郎³, 村上明男⁴, 豊岡公徳², 三村徹郎^{4,5,6}, 平井優美^{4,2}(¹名古屋大・院・生命農, ²理研・CSRS, ³横浜市大・理, ⁴神戸大・院・理, ⁵東京大・院・農学生命科学, ⁶国立成功大・生科・科技)</p>	<p>2aE09 花卉を脱離させる JA シグナル伝達の下流の経路の解明 古田優生, 山口暢俊, 伊藤寿朗(奈良先端大・バイオ)</p>
11:15	<p>2aA10 緑藻クラミドモナス集光性クロロフィルタンパク質の輸送に関与する cpSRP のアフィニティ精製 黒田洋詩¹, 小澤真一郎², 高橋裕一郎¹(¹岡山大・基礎研, ²岡山大・植物研)</p>		<p>2aC10 ストレス条件下における葉の油滴の誘導機構と局在タンパク質の機能解析 岩井裕也¹, 三城恵美², 加納圭子², 尾亦雄斗³, 鳥田貴士^{1,4,5}(¹千葉大・園芸, ²名古屋大・ITBM, ³東工大, ⁴千葉大・院園芸, ⁵千葉大・植物分子科学研究センター)</p>		<p>2aE10 植物ホルモン ABA は異数倍体間交雑を正に制御する 佐藤輝^{1,3}, Wenjia Xu^{1,2}, Heinrich Bente^{1,4}, Juan Santos-González¹, Claudia Köhler^{1,4}(¹ISLU, Uppsala BioCenter, ²INRA, AgroParisTech, ³Tokyo Univ., Dept. Integrated Sciences, ⁴MPI, Molecular Plant Physiology)</p>

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 A	新技術開発				
<p>2aF06 シロイヌナズナの概日時計関連転写因子群を介した温度ストレス耐性遺伝子発現制御の解析 城所聡^{1,2}, 神浦泉², 林健太郎², 相馬史幸², 鈴木孝征³, 宮川拓也^{2,4}, 田之倉優², 篠崎一雄⁵, 篠崎和子^{2,6}(¹東工大・生命理工学院, ²東大院・農学生命科学, ³中部大学・応用生物, ⁴京大院・生命科学研究所, ⁵理研・環境資源科学研究セ, ⁶東京農大・農生命科学研)</p>	<p>2aG06 ㊦ Single-cell transcriptomics unveils xylem cell development and evolution Chia-Chun Tung¹, Shang-Che Kuo², Chia-Ling Yang³, Jhong-He Yu¹, Chia-En Huang¹, Pin-Chien Liou¹, Ying-Hsuan Sun⁴, Peng Shua⁵, Jung-Chen Su⁶, Chuan Ku^{2,3}, Ying-Chung Jimmy Lin^{1,2} (¹Department of Life Science and Institute of Plant Biology, National Taiwan University, Taipei 10617, Taiwan., ²Genome and Systems Biology Degree Program, National Taiwan University and Academia Sinica, Taipei 10617, Taiwan., ³Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei 11529, Taiwan., ⁴Department of Forestry, National Chung Hsing University, Taichung 40227, Taiwan., ⁵College of Forestry, Fujian Agriculture and Forestry University, Fuzhou 350002, China., ⁶Department of Pharmacy, National Yang Ming Chiao Tung University, Taipei 11221, Taiwan)</p>	<p>2aH06 Physcomitrium patens におけるキチン誘導性細胞死 (ccd) 変異体の単離および解析 市橋武, 安部優希, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ(東農大・バイオ)</p>	<p>2aI06 アグロバクテリウム法によって作出された遺伝子組換え植物中に存在する超短配列 25 bp の検出法の開発 高島令王奈¹, 大西真理², 峰岸恭孝³, 布藤聡², 曾我慶介⁴, 柴田識人⁴, 中村公亮⁴, 近藤一成⁴, 真野潤一¹, 橘田和美¹(¹農研機構, ²株式会社ファスマック, ³株式会社ニッポンジーン, ⁴国立医薬品食品衛生研究所)</p>	シンポジウム S06 P700 酸化を通してみた環境ストレスの世界 (9:00-11:10)	データベース講習会 (9:00-12:00)	シンポジウム S07 Japan-Singapore Binational Symposium: Plant Science & Precision Agriculture (9:00-11:50)	10:15
<p>2aF07 植物の概日時計転写因子における低温ストレス特異的分解機構の解明 大川直輝¹, 高橋史憲^{2,3}, 溝井順哉¹, 篠崎一雄³, 篠崎和子⁴, 城所聡⁵(¹東大院・農学生命科学, ²東京理科大・先進工学, ³理研・環境資源科学研究セ, ⁴東京農大・農生命科学研, ⁵東工大・生命理工学院)</p>	<p>2aG07 C₄ Flaveria bidentis の葉の発達段階における FbDOF1A 転写因子の発現パターン解析 宗景ゆり¹, 小野知世¹, 大澤芽依¹, 奥殿健¹, 谷口幸美¹, Tammy Sage²(¹関西学院大・生命環境, ²Dep. Eco. & Evo. Bio, Univ. of Toronto)</p>	<p>2aH07 糖はプロテインキナーゼの活性化を介して防御応答を活性化させる 山田晃嗣¹, 峯彰²(¹徳島大・院社会産業理工, ²京大院・農)</p>	<p>2aI07 新規近位依存性ビオチン化酵素 AirID を利用した植物体内での相互作用タンパク質解析技術の開発 堀凌輔¹, 篠原颯太¹, 野澤彰¹, 西野耕平², 小迫英尊², 澤崎達也¹(¹愛媛大・PROS, ²徳島大・藤井節郎記念医学科学センター)</p>				10:30
<p>2aF08 ラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 のガラクトリパーゼ Galp3 は低温適応に関与する 高谷信之¹, 上之園誠², 谷口航太³, 妹尾勇弥⁴, 池田和貴⁴, 小俣達男¹, 愛知真木子¹(¹中部大・応用生物, ²名大・院・生命農, ³中部大・院・応用生物, ⁴かずさDNA研・ゲノム事業)</p>	<p>2aG08 被子植物の葉脈における羽状パタンの定量解析 北沢美帆^{1,2}, 堀部和也³(¹大阪大・全学教育, ²大阪大・院理, ³大阪大・院基礎工)</p>	<p>2aH08 高湿度におけるアブシシン酸応答の不活化は病原細菌の水獲得を抑制する 安田盛貴¹, 平瀬大志¹, 石崎遼¹, 鈴木隆司², 篠澤章久^{3,4}, 上田梨子¹, 四井いずみ³, 豊田正嗣², 西條雄介¹(¹奈良先端大・先端科学, ²埼玉大・院・理工, ³東京農大・バイオ, ⁴東京農大・生物資源ゲノムセンター)</p>	10:45				
<p>2aF09 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 における Galp3 の低温環境下での機能 谷口航太¹, 高谷信之², 上之園誠³, 池田和貴⁴, 妹尾勇弥⁴, 小俣達男², 愛知真木子²(¹中部大・院・応用生物, ²中部大・応用生物, ³名大・院・生命農, ⁴かずさDNA研・ゲノム事業)</p>	<p>2aG09 葉序の抑制場モデルにおける黄金角出現の理屈に関する解析的考察 米倉崇晃, 杉山宗隆(東京大・院・理)</p>	<p>2aH09 シロイヌナズナの発達に伴い確立される全身獲得抵抗性 スックウワン カノックニバー¹, 土屋徳司²(¹日本大・院応用生命, ²日本大生物資源)</p>	11:00				
<p>2aF10 キュウリ低温ストレス障害における活性酸素と鉄の影響 竹内航¹, 車玉芬¹, 中野雄司¹, 伊福健太郎²(¹京大・院生命, ²京大・院農)</p>	<p>2aG10 マルチプラットフォームワイドターゲットメタボロミクスによる葉器官の細胞数と細胞サイズの協調に資する代謝産物群の同定 多部田弘光^{1,2,3}, 古賀皓之⁴, 佐藤心郎², 郡司玄¹, 塚谷裕一⁴, 平井優美^{2,5}, フェルジャニアリ¹(¹学芸大・院生命, ²理研 CSRS, ³東京大・院総合文化, ⁴東京大・院理学, ⁵名大院・生命農学)</p>	<p>2aH10 ㊦ Proteomic screening and functional analysis of plant immune ROS sensors: NbGLR positively regulates plant immune responses Yuta Hino, Keita Okamoto, Taichi Inada, Miki Yoshioka, Tatsuhiko Kondo, Hitoshi Mori, Hirofumi Yoshioka (Grad. Sch. Bioagricultural Sci., Nagoya Univ.)</p>	11:15				

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月16日(木) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	光合成	生体膜・イオン・物質輸送	オルガネラ/細胞骨格	特化(二次)代謝	生殖
11:30	<p>2aA11 シロイヌナズナのグラナマージン局在性ダイナミン様タンパク質 FZL によるチラコイド膜の維持 小川由¹, 岩野恵², 川本晃大³, 栗栖源嗣³, 鹿内利治⁴, 坂本亘¹(¹岡山大・植物研, ²京都大・生命科学, ³大阪大・蛋白研, ⁴京都大・理・生物)</p>		<p>2aC11 ユビキチン E3 リガーゼ FLYING SAUCER2 の RING ドメイン機能解析 園枝正^{1,2}, 松葉千夏¹, 地福海月¹, 三城恵美³, George W. Haughn⁴, 西村いくこ⁵, 出村拓^{1,2}(¹奈良先端大・バイオ, ²奈良先端大・CDG, ³名古屋大・ITbM, ⁴プリティッシュュコロンビア大・植物, ⁵甲南大・理工)</p>		<p>2aE11 イネ受精卵と体細胞プロトプラストから作出した融合細胞の発生解析 巨田絵梨香^{1,2}, 亀川拓夢², 東山哲也¹, 岡本龍史²(¹東大・理・生物科学, ²都立大・理・生命科学)</p>
11:45			<p>2aC12 核膜孔輸送体検定に利用可能な植物無傷核の調製 岩崎俊介, 松澤凌也, 榎本亘泰, 牧夏帆, 太田美紅(新潟大・理)</p>		<p>2aE12 ㊦ Autonomous development and regeneration of rice egg cells in a fertilization-independent manner Kasidit Rattanawong¹, Shizuka Koshimizu^{2,3}, Kaori Totsuka⁴, Kentaro Yano², Takashi Okamoto¹(¹Tokyo Metropolitan University, ²Meiji University, ³National Institute of Genetics)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 A	新技術開発	X 会場	Y 会場	Z 会場	
<p>2aF11 ナフトキノン誘導体によるシロイヌナズナの低温応答の制御 北脇耕平, 三原良太, 稲葉靖子, 稲葉丈人 (宮崎大・農)</p> <p>2aF12 常緑草本ハクサンハタザオの低温順化・脱順化過程を通じた凍結耐性の標高生態型間比較 湯本原樹, 本庄三恵, 工藤洋 (京都学・生態研)</p>	<p>2aG11 ジャスモン酸に応答したトライコーム増加が欠損したシロイヌナズナ突然変異体の解析 田代美空¹, 吉田祐樹², 澤進一郎³ (1)熊本大・理, (2)熊本大・院先端科学, (3)熊本大・生物環境農学国際研セ)</p> <p>2aG12 オオムギの芒形成を担うエビゲノム制御因子 中村光登¹, 菊池優一¹, 白神美瑞徳², 小竹敬久³, 武田真^{1,2}, 池田陽子^{1,2} (1)岡山大・院環境生命, (2)岡山大・資源植物科学研, (3)埼玉大学・理工学)</p>	<p>2aH11 E Extracellular molecules produced by microbiota commensals interfering with the root growth and immunity in <i>Arabidopsis thaliana</i> Tomohisa Shimasaki^{1,2}, Ulla Neumann¹, Ryohei Thomas Nakano¹ (1)MPIPZ, (2)RIKEN BRC)</p> <p>2aH12 E Activation mechanism of plant mixed lineage kinase domain-like (MLKL) proteins conferring TIR-NLR-mediated immunity Keiichi Hasegawa^{1,2}, Qiaochu Shen^{1,2}, Menghang Huang³, Kay Hoffman¹, Yuhang Chen⁴, Jijie Chai^{1,2,3,5}, Takaki Maekawa¹⁻⁵ (1)University of Cologne, (2)Max planck institute for plant breeding research, (3)Tsinghua University, (4)State Key Laboratory of Molecular Developmental Biology, (5)The Cluster of Excellence on Plant Sciences (CEPLAS))</p>		シンポジウム S O 6 P700 酸化を通してみた環境ストレスの世界 (9:00-11:10)	データベース講習会 (9:00-12:00)	シンポジウム S O 7 Japan-Singapore Binational Symposium: Plant Science & Precision Agriculture (9:00-11:50)	11:30 11:45

E = 発表の言語は英語

● 第3日 3月17日(金) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	オルガネラ/細胞骨格	環境応答 A/生理反応
09:00	<p>3aA01 シロイヌナズナの光呼吸変異体は ΔpH 非依存的に光合成電子伝達を制御する 和田慎也¹, 丸田隆典², 鈴木雄二³, 牧野周⁴, 三宅親弘¹(¹神戸大・院・農, ²島根大・生物資源, ³若手大・農, ⁴東北大・院・農)</p>	<p>3aB01 メタボローム解析から探るイネのカマイラズ変異体の代謝変動 宮城敦子^{1,2}, 森和久², 石川寿樹², 大久保智司³, 安達俊輔⁴, 大川泰一郎⁴, 山口雅利², 小竹敬久², 川合真紀²(¹山形大・農, ²埼玉大・院理工, ³東北大・院生命, ⁴東京農工大・院農)</p>	<p>3aC01 状態空間モデルを用いた細胞小器官運動の統計解析 西尾治雄^{1,2}, 平野慧潔^{3,4}, 児玉豊^{3,4}(¹滋賀大・DS七, ²京都市大・生医研, ³宇都宮大・バイオセ, ⁴宇都宮大・院・地域創生)</p>	<p>3aD01 <i>TILLER ANGLE CONTROL1</i> による側枝伸長角度制御の遺伝的制御機構 川本望, 西村岳志, 森田美代(基礎生物学研究所)</p>
09:15	<p>3aA02 シロイヌナズナの x-型, y-型チオレドキシシン欠損変異株の解析 桶川友季¹, 佐藤望², 本橋健², 坂本亘²(¹岡山大・植物研, ²京都産大・生命科学)</p>	<p>3aB02 シアノバクテリアにおいて下流糖系中間体の維持が迅速な光合成開始を可能にする 田中謙也^{1,2,3}, 松田真実³, 白井智量^{3,4}, 近藤昭彦^{1,3,4}, 蓮沼誠久^{1,3,4}(¹神戸大・先端バイオ工研セ, ²阪大院・基礎工太陽エネ研セ, ³神戸大院・科技イノベ, ⁴理研・環境資源)</p>	<p>3aC02 Translocon at the inner envelope membrane of chloroplast (TIC) の精製と構造解析 町野颯, 廣瀬未果, 加藤貴之, 中井正人(大阪大・院理学・蛋白質)</p>	<p>3aD02 RLD の BRX ドメイン 依存的・非依存的なシグナル伝達の解明 西村岳志¹, 古谷将彦², 森田(寺尾)美代¹(¹基生研, ²熊本大学)</p>
09:30	<p>3aA03 シロイヌナズナにおける葉緑体内局在型 Trx 様タンパク質の非光化学的消光制御への関与 福士結香^{1,2}, 横地佑一^{1,2}, 若林憲一^{1,2}, 吉田啓亮^{1,2}, 久堀徹^{1,2}(¹東工大・化学生命科学研究所, ²東工大・生命理工学院)</p>	<p>3aB03 ラン藻及びシロイヌナズナの HPP ファミリータンパク質の硝酸イオン輸送活性 前田真二, 小俣達男(名古屋大・生命農学)</p>	<p>3aC03 葉緑体ストレスにตอบสนองする植物免疫受容体の解析 西村健司(関西学院大・生命環境)</p>	<p>3aD03 ゼニゴケ仮根の極性先端成長の定量的解析の確立と光屈性の発見 小嶋壘, 橋本研志, 朽津和幸(東京理科大・理工・応用生物学)</p>
09:45	<p>3aA04 シアノバクテリアにおける Na⁺/H⁺ アンチポーターによる光合成制御機構 辻井雅¹, 小林歩夢¹, 狩野文香¹, 解良康太¹, 児島征司², 小口理一², 彦坂幸毅², 園池公毅³, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹(¹東北大・工学, ²東北大学・生命科学, ³早稲田大学・教育学)</p>	<p>3aB04 イネの窒素欠乏応答ネットワークにおける OsbZIP11 転写因子の役割 大槻並枝¹, 植田佳明², 櫻庭康仁¹, 柳澤修一¹(¹東大・農, ²国際農研・生産環境・畜産領域)</p>	<p>3aC04 ブラシノステロイド新規シグナル伝達因子 BPG4 によるクロロフィル合成制御を介した葉緑体恒常性維持メカニズムの解明 立花諒¹, 阿部晋², 丸上萌々², 山上あゆみ¹, 野崎翔平³, 宮川拓也¹, 稲葉丈人⁴, 松井南⁵, 久城哲夫², 伊福健太郎⁶, 浅見忠男⁷, 中野雄司¹(¹京大・院生命科学, ²明治大・農, ³筑波大・院生命環境, ⁴宮崎大・農, ⁵理研・CSRS, ⁶京大・院農, ⁷東大・院農学生命)</p>	<p>3aD04 ゼニゴケ仮根における極性先端成長の速度および方向の制御と細胞質の Ca²⁺ 動態 橋本研志, 池内亨, 東島万里子, 阿部高明, 小嶋壘, 朽津和幸(東京理科大・理工・応用生物学)</p>
10:00	<p>3aA05 チラコイド膜反応系におよぼす遠赤光の効果: 生化学的解析 寺島一郎, 河野優(東京大・理学・生物)</p>	<p>3aB05 イネの窒素欠乏応答における OsHHO3 転写抑制因子の役割 Kexin Liu¹, 櫻庭康仁¹, 植田佳明², 大槻並枝¹, Mailun Yang¹, 柳澤修一¹(¹東大院・農学生命, ²JIRCAS)</p>	<p>3aC05 植物バイオマスの生産性向上をめざした緊縮応答因子 ppGpp のシステムティックな蓄積制御系の構築 後藤美奈¹, 今村壮輔², 高谷和宏², 増田真二¹(¹東工大・生命理工, ²NTT・宇宙環境エネルギー研)</p>	<p>3aD05 食虫植物モウセンゴケの運動を制御する高速電気シグナルの解析 瀬上紹嗣^{1,2}, Palfalvi Gergo¹, 棚瀬邦明^{1,3}, 松田陸玖^{1,3}, Peng Chen^{1,2}, 須田啓⁴, 下村拓史⁵, 大井祥子¹, 豊田正嗣⁴, 長谷部光泰^{1,2}(¹基生研, ²総研大, ³名古屋大・院理学, ⁴埼玉大・院理工学, ⁵生理研)</p>
10:15	<p>3aA06 遠赤色光による光合成促進機構: チラコイド膜を用いた解析 河野優, 寺島一郎(東京大・院・理・植物生態)</p>	<p>3aB06 ㊦ The role of OsHHO3 transcription repressor in controlling phosphorus acquisition in rice Mailun Yang, Kexin Liu, Yasuhiro Sakuraba, Shuichi Yanagisawa (Agro-Biotech. Res. Center, Grad. Sch. Agri. Life Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>3aC06 植物オルガネラの RNA 編集酵素が複合体形成によって活性化される機構 竹中瑞樹¹, 藤間祥子², Frink Brody¹, Tenghua Wang¹, 竹中佐知¹, 鹿内利治¹, 清水敏之³(¹京都市大・院理学, ²奈良先端大・院物質創成科学, ³東京大・院薬学)</p>	<p>3aD06 ㊦ Effector signaling in plant hypersensitive response; The single Molecule Signaling Analysis in potato-P. infestans Interaction Naotaka Furuichi (Plant Defence Molecular Institute)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
植物ホルモン/シグナル伝達物質	環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 B					
<p>3aE01 ㊦ An activity of phytoene desaturase negatively regulates auxin biosynthesis and signaling Kang Xu¹, Haoran Zeng¹, Emi Yumoto², Masashi Asahina^{2,3}, Ken-ichiro Hayashi⁴, Hidehiro Fukaki⁵, Hisashi Ito⁶, Masaaki K. Watahiki^{1,7} (1)Grad. Sch. Life., Univ. Hokkaido, (2)Adv. Inst. Anal. Center., Univ. Teikyo, (3)Dept. Biosci., Univ. Teikyo, (4)Dept. Biosci., Univ. Okayama of Science, (5)Grad. Sch. Sci., Univ. Kobe, (6)Inst. Low Temp. Sci., Univ. Hokkaido, (7)Div. BioSci., Fac. Sci., Univ. Hokkaido)</p>	<p>3aF01 高温条件下におけるストレス顆粒とヒートショックタンパク質の相互作用ダイナミクスの解析 西柚季¹, 市川芽依¹, 山本祐規子¹, 岩永廣子¹, 三浦信恵¹, 武井敬仁^{1,2}, 渡邊雄一郎³, 濱田隆安¹ (1)岡山理科大学・理, (2)東京大 院理学系, (3)東京大 院総合文化)</p>	<p>3aG01 シロイヌナズナの側根間隔は二段階で調節される 大城翔平¹, 郷達明¹, 近藤洋平², 米倉崇晃³, 深城英弘⁴, 中島敬二¹ (1)奈良先端大・バイオサイエンス, (2)自然科学研究機構・生創探, (3)東大・院・理・生物科学, (4)神戸大・院・理)</p>	<p>3aH01 菌根菌共生におけるイネの OsSYMRRK の役割とその進化 宮田佳奈, 細谷萌恵, 蔣文迪, 高岡暁, 松本虎太郎, 賀来華江 (明治大・農)</p>					09:00
<p>3aE02 2段階オーキシン合成酵素反応におけるインドールビルビン酸の調節機構 佐藤明子¹, 添野和雄², 菊地理絵¹, 成川-奈良恵¹, 山崎千秋¹, 寛雄介¹, 中村郁子¹, 嶋田幸久¹ (1)横浜市大・木原生研, (2)農研機構・西農研)</p>	<p>3aF02 紅藻スサビノリ糸状体の高温ストレス応答遺伝子と細胞応答解析 齊藤明日香¹, 阿久津光昭², 日渡祐二^{1,2} (1)宮城大・食産, (2)宮城大・院・食産)</p>	<p>3aG02 側根創始細胞の核の移動におけるオーキシン合成への役割 金田紗苗, 柿本辰男 (大阪大・院理)</p>	<p>3aH02 異なる形態型のアーバスキュラー菌根を形成するトマトの根における比較トランスクリプトーム解析 齊藤光¹, 富永貴哉², 姚璐璐³, 江草真由美³, 上中弘典³ (1)鳥取大・院農, (2)鳥取大・連農, (3)鳥取大・農)</p>					09:15
<p>3aE03 未知のシグナル分子に対する寄生植物の根の反応 林万理奈^{1,2}, 南保正和², 木下俊則^{1,2}, 土屋雄一郎² (1)名古屋大学理学研究科, (2)名古屋大学ITbM)</p>	<p>3aF03 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh1</i> の単離解析 山口凌¹, 田中啓介², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1)東京農大・バイオ, (2)東京農大・ゲノムセンター)</p>	<p>3aG03 ㊦ Dimorphism of LR growth of <i>shy2/iaa3</i> and wt regulated by auxin Feiyang Lin¹, Hidehiro Fukaki², Masaaki K. Watahiki^{1,3} (1)Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., (2)Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ., (3)Fac. Sci., Hokkaido Univ.)</p>	<p>3aH03 トルコギキョウのイリドイド配糖体は特定のアーバスキュラー菌根菌の分岐を促進する 富永貴哉¹, 上野琴巳², 江草真由美², 齊藤光³, 上中弘典² (1)鳥取大・連農, (2)鳥取大・農, (3)鳥取大・院農)</p>					09:30
<p>3aE04 裸子植物を用いたストリゴラクトン信号伝達経の進化の解析 児玉恭一¹, Xiaonan Xie², 経塚淳子¹ (1)東北大・院生命科学, (2)宇都宮大・バイオ)</p>	<p>3aF04 シロイヌナズナ長期高温応答におけるスプライシング関連因子の寄与 遠藤直弥, 月本亮, 磯野一帆, 四井いずみ, 坂田洋一, 太治輝昭 (東京農大・バイオ)</p>	<p>3aG04 ㊦ Investigation of a gene network of lateral root formation Peiyuan Li¹, Masaaki K. Watahiki^{1,2} (1)Grad. Sch. life., Univ. HoKkaido, (2)Div. BioSci., Fac. Sci. Univ. HoKkaido)</p>	<p>3aH04 ㊦ Root endophyte <i>Colletotrichum tofieltiae</i> promotes <i>Arabidopsis thaliana</i> growth under nitrogen limiting conditions Tan Anh Nhi Nguyen, Yuniar Devi Utami, Masami Nakamura, Kei Hiruma (Grad. Sch. Arts and Sci., Univ. Tokyo)</p>					09:45
<p>3aE05 イネにおけるカーラクトン酸メチル基転移酵素の機能解析 増口遼^{1,2}, 櫻井優姫², 北岡直樹^{2,3}, 山口信次郎^{1,2} (1)京大・化研, (2)東北大院・生命科学, (3)北大院・農)</p>	<p>3aF05 シロイヌナズナの長期高温ストレス耐性におけるミトコンドリア RNA 編集の役割 澤井里歩, 三沢昂輝, 旭文暉, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一 (東京農大・院・バイオ)</p>	<p>3aG05 地上部へシグナルは pre-mRNA スプライシング制御を介して側根形態を制御する 高柳なつ¹, 荒江星拓¹, 高橋洋和², 清水隆之³, 堀口吾朗⁴, 相田光宏⁵, 深城英弘⁶, 増田建³, 大谷美沙都^{1,2,7} (1)東大・院・新領域, (2)奈良先端大・バイオ, (3)東大・院・総合文化, (4)立教大・理・生命, (5)熊本大・院・先端科学, (6)神戸大・院・理, (7)理研・CSRS)</p>	<p>3aH05 エンドファイト由来の側根形成を誘導する低分子エフェクターの探索 松浦大空, 小川拓水, 岡澤敦司, 太田大策 (大阪公立大・院農)</p>					10:00
<p>3aE06 ストリゴラクトンの加水分解がストライガの発芽に与える影響 塩谷翔¹, 大井貴史², 土屋雄一郎² (1)名古屋大学院生命理学, (2)名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p>	<p>3aF06 ㊦ The <i>hst1</i> gene promotes the growth performance of rice (<i>Oryza sativa</i> L.) genotypes under high temperature and drought stress Ermelinda Maria Lopes Hornai^{1,2}, Murat Aycan³, Toshiaki Mitsui³ (1)Department of Life and Food Sciences, Graduate School of Science and Technology, Niigata University, Niigata, Japan., (2)Division of Research and Statistics, Timor-Leste Ministry of Agriculture and Fisheries, Dili, Timor-Leste., (3)Laboratory of Biochemistry, Faculty of Agriculture, Niigata University, Niigata, Japan.)</p>	<p>3aG06 植物の器官発生におけるシトクロム b₃ 様ヘム結合タンパク質 RLF の機能解析 岩田健太郎¹, 後藤千恵子¹, 福村日向丸¹, 清水隆之², 丸山海成³, 古谷朋之^{1,4}, 近藤侑貴¹, 笠原博幸^{3,5}, 増田建², 石崎公庸¹, 深城英弘¹ (1)神戸大・院・理, (2)東大・院・総合文化, (3)東京農工大・院・農, (4)立命館大・生命, (5)理研・CSRS)</p>	<p>3aH06 共生細菌 <i>Pseudomonas paralactis</i> による気孔動態制御メカニズムの解明に向けて 平田梨佳子¹, 高木桃子², Yuniar Devi Utami³, 晝間敬³, 戸田陽介^{4,5}, 峯彰¹ (1)京大院・農, (2)名古屋大・ITbM, (3)京大院・総合, (4)フィットメトリクス(株))</p>					10:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月17日(金) 午前(9:00-12:00)



時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	オルガネラ/細胞骨格	環境応答 A/生理反応
10:30	<p>3aA07 葉緑体内の CO₂ 濃度を決定する葉肉コンダクタンスのコスト-ベネフィット解析 溝上祐介¹, 小口理², 杉浦大輔³, 矢守航⁴, 野口航¹, 寺島一郎⁵(¹東葉大・生命科学, ²大阪大・理・生物科学, ³名大・院・生命農学, ⁴東大・院・農学生命・生態調和, ⁵東大・院・理・植物生態)</p>	<p>3aB07 硫黄欠乏応答における SLIM1 転写因子の C 末端領域の必要性 Justyna Piotrowska², 上土井優貴¹, Ha Trang Nguyen¹, Anna Wawrzynska², 高橋秀樹³, Agnieszka Sirko², 丸山明子¹(¹九州大・院農, ²ポーランド科学アカデミー, ³ミシガン州立大学)</p>	<p>3aC07 シロイヌナズナの気孔運動における葉緑体局在の機械受容チャネルの関与の可能性 椎名隆, 田中智佳子, 山崎加奈子, 石崎陽子(摂南大・農)</p>	<p>3aD07 糸状性光合成細菌 <i>Chloroflexus aurantiacus</i> の呼吸から光合成モードへの移行過程における経時的プロテオーム解析 河合整, 島村繁, 嶋根康弘, 塚谷祐介(JAMSTEC)</p>
10:45	<p>3aA08 NADP-ME 型 C4 植物のフラベリアで機能するアスパラギン酸経路の解析 平井星佳, 古本強(龍谷大・植物生命科学)</p>	<p>3aB08 暗条件下での NADP⁺ 脱リン酸化がシロイヌナズナの呼吸代謝に及ぼす影響 橋田慎之介¹, 福田祐介², 川合真紀³(¹電中研・生物環境化学, ²(株)セレス, ³埼玉大・院・理工)</p>	<p>3aC08 植物デンプンの迅速な可視化を可能にする低分子蛍光プローブの開発 草野修平, 中村咲耶, 泉正範, 萩原伸也(理化学研究所 環境資源科学研究センター)</p>	<p>3aD08 シロイヌナズナの低 CO₂ 環境応答に関与する遺伝的要因の探索 米田幸誠, 上原晋, 稲葉靖子, 稲葉丈人(宮崎大・農)</p>
11:00	<p>3aA09 緑藻クラミドモナスのピレノイドに局在するタンパク質 SAGA1 は Ca²⁺ 結合性タンパク質 CAS による無機炭素輸送体の遺伝子発現に必要である 嶋村大亮, 新川友貴, Donghui Hu, 山野隆志, 福澤秀哉(京大・院生命科学)</p>	<p>3aB09 クラミドモナスの MYB1 はリン欠乏時の脂質転換に関与する 福田恒直, 堀孝一, 井原雄太, 下嶋美恵, 太田啓之(東工大・生理理工)</p>	<p>3aC09 エネオプラストにおける 2 種類の内部膜構造の形成を制御するガラクト脂質 藤井登^{1,2}, 秋田佳恵³, 大目歩果³, 梶川瑞恵^{2,3}, 和田元², 永田典子³, 小林康一⁴(¹弘前大・農生, ²東京大・院・総合文化, ³日本女子大・理, ⁴大工大・国際基幹教育機構)</p>	<p>3aD09 高 CO₂ 下の気孔閉口制御に関わる葉肉シグナルの解析 森川龍, 安藤英伍, 寺島一郎(東大・理・生物)</p>
11:15	<p>3aA10 海洋性珪藻チラロイド膜の重炭酸輸送体候補因子 PtBests 及び TpBests の環境応答解析 仁岸みのり, 山岸寛征, 天野俊輔, 伊藤駿, 鳴川銀河, 松田祐介(関学大・院理工)</p>	<p>3aB10 植物細胞におけるステロールの生合成及び貯蔵部位の探索 磯部一樹¹, 藤井友理¹, 鳥田貴士², 西村いくこ³, 太田大策¹(¹大阪大・院農, ²千葉大・院園芸, ³甲南大・理工)</p>	<p>3aC10 植物ペキシファジーは、強光下でおこる ROS 生成による植物細胞の傷害を抑制する 及川和隆¹, 後藤(山田)志野², 林八寿子³, 柴田美智太郎⁴, 近藤真紀¹, 真野昌二¹, 上田晴子⁵, 西村いくこ⁵, 山田健志², 西村幹夫^{1,5}(¹基礎生物学研究所・オルガネラ制御, ²ヤギェウォ大・マルボルスカ研, ³新潟大学・理学部, ⁴理化学研究所・環境資源科学研究センター, ⁵甲南大学・理工学部)</p>	

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物ホルモン/シグナル伝達物質	環境応答 B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用 B					
<p>3aE07 ㊦ Functional analysis of parasitic plant <i>Striga hermonthica</i> germination inhibitor RTC2 Jia Xin Yap¹, Hanae Imaizumi², Daisuke Uraguchi³, Rie Yamaguchi², Ayato Sato², Takashi Ooi^{2,3}, Toshinori Kinoshita^{1,2}, Yuichiro Tsuchiya² (Grad. Sch. of Sci., Nagoya Univ., ²ITbM, Nagoy Univ., ³Grad. Sch. of Engr., Nagoya Univ.)</p>	<p>3aF07 オートファジーはイネ種子登熟時の高温ストレスで誘導される白濁粒の形成を鏡和する 花俣整^{1,2}, 町田大輔³, 手塚絃夢³, 齋藤誠志³, 齋藤輝³, 麻生将史³, 瀬良ゆり¹, 金古堅太郎³, Marouane Baslam², Murat Aycan², 来須孝光⁴, 朽津和幸¹, 三ツ井敏明^{2,3} (東京理科大学・理工学部・応用生物科学科, ²新潟大学・農学部, ³新潟大学大学院・自然科学系, ⁴公立諏訪東京理科大学・工学部・機械電気工学)</p>	<p>3aG07 ㊦ An embryo-maternal dialogue regulates <i>Arabidopsis</i> embryonic root formation Yujuan Du¹, Abdelhafid Bendahmane², Akie Shimotohno¹ (Nagoya University, ITbM, ²Institute of Plant Sciences Paris-Saclay (IPS2), INRAE, University of Paris-Saclay)</p>	<p>3aH07 トマチンによりトマト根圏に増加するスフィンゴピウム属細菌がトマト生育に与える影響の解析 高松恭子¹, 中安大¹, 山崎真一², 青木裕一^{2,3}, 永野惇^{4,5}, 小林優⁶, 伊福健太郎⁶, 矢崎一史¹, 杉山暁史¹ (京都大・生存研, ²東北大・ToMMo, ³東北大・院情報, ⁴龍谷大・農, ⁵慶應大・IAB, ⁶京都大・院農)</p>		シンポジウム S08			10:30
<p>3aE08 ゼニゴケにおける KL 信号伝達系の下流因子探索 熊谷風社¹, 鈴木秀政¹, 小松愛乃¹, 児玉恭一¹, 謝肖男², 経塚淳子¹ (東北大・院生命, ²宇都宮大・バイオ)</p>	<p>3aF08 イネの高温ストレス応答を制御するシグナル伝達機構の解明 古橋真由子¹, 小川大輔², 米丸純一², 高橋史憲¹ (東京理科大・先進工, ²農研機構)</p>	<p>3aG08 シロイヌナズナの根における <i>ARF10</i> と <i>ARF16</i> の発現領域限局機構と根冠分化への寄与 田中慧大¹, 古川明日香¹, 飯田誠也¹, 齊藤大幹¹, 奥島英子², 深城英弘², 郷達明¹, 宮島俊介¹, 中島敬二¹ (奈良先端大・先端科学技術, ²神戸大・院・理)</p>			シングルセル解析は植物科学に何をもたらすのか (9:00-12:00)			10:45
<p>3aE09 ゼニゴケにおけるジベレリン新奇信号伝達因子の探索 下川渡太¹, 川村昇吾¹, Rui Sun¹, 鈴木かおり¹, 岡部麻衣子¹, 吉竹良洋¹, 安居佑季子¹, 西浜竜一³, 山岡高平¹, 増口潔², 山口信次郎², 河内孝之¹ (京大・院生命科学, ²京大・化学研究所, ³東京理科大・理工・応用生物)</p>	<p>3aF09 FTIR ケモメトリクスによるコムギ高温応答の解析 竹田佳生¹, Salma O. M. Osman^{2,3}, 只野翔太², 山崎友渡⁴, Abu Sefyan I. Saad³, Izzat S.A. Tahir^{3,5}, 辻本壽⁵, 明石欣也^{1,2,4,5} (鳥取大院・持続性社会, ²鳥取大院・連農, ³スーダン農業研究機構, ⁴鳥取大・農, ⁵鳥取大・乾地研)</p>	<p>3aG09 動体トラッキング顕微鏡と AI 支援画像定量によるシロイヌナズナ根端の細胞分裂・伸長ダイナミクスの解析 郷達明¹, Yu Song², 米倉崇晃^{1,3}, 大伏仙泰⁴, Zeping Den², 射水勝利¹, 富沢瑠子⁵, 近藤洋平⁵, 宮島俊介¹, 岩本祐太郎^{2,6}, 稲見昌彦⁷, 陳延偉², 中島敬二¹ (奈良先端大・バイオサイエンス, ²立命館大・情報理工, ³東大・院・理, ⁴東大・院・工, ⁵自然科学研究機構・生創探, ⁶大阪電通大・情報通信工, ⁷東大・先端研)</p>						11:00
<p>3aE10 ㊦ Evolution of NPR proteins: salicylic acid receptors Hyung-Woo Jeon¹, Hidekazu Iwakawa¹, Satoshi Naramoto², Cornelia Herrfurth³, Nora Gutsche⁴, Titus Schlüter¹, Junko Kyoizuka², Shingo Miyauchi¹, Ivo Feussner³, Sabine Zachgo⁴, Hirofumi Nakagami¹ (Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ²Tohoku University, ³University of Göttingen, ⁴Osnabrück University)</p>	<p>3aF10 ㊦ Ethanol treatment induces heat tolerance in tomato plants Daisuke Todaka¹, Quynh Do^{1,4}, Maho Tanaka^{1,2}, Akihiro Ezo¹, Satoshi Takahashi^{1,2}, Junko Ishida^{1,2}, Miyako Kusano^{5,6,7}, Makoto Kobayashi⁵, Kazuki Saito⁵, Atsushi J. Nagano^{8,9}, Motoaki Seki^{1,2,3} (Plant Genomic Network Research Team, CSRS, RIKEN, ²Plant Epigenome Regulation Laboratory, CPR, RIKEN, ³Kihara Institute for Biological Research, YCU, ⁴Agricultural Genetics Institute, Pham Van Dong Road, Bac Tu Liem District, ⁵Metabolomics Research Group, CSRS, RIKEN, ⁶Graduate School of Life and Environmental Sciences, Univ. of Tsukuba, ⁷Tsukuba Plant Innovation Research Center, Univ. of Tsukuba, ⁸Faculty of Agriculture, Ryukoku Univ., ⁹Institute for Advanced Biosciences, Keio Univ.)</p>	<p>3aG10 細胞内小胞輸送にかかわる PATROL1 の根における役割 野田口理孝^{1,2}, 市田まなみ³, 川添貴哉⁴, 門田慧奈⁵, 黒谷賢一², 射場厚⁵, 橋本美海¹ (1名大院・生命農, ²名大・生物機能開発センター, ³熊大・理, ⁴熊大院・自然科学教養部, ⁵九大院・理)</p>						11:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月17日(金) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	一次代謝	オルガネラ/細胞骨格	環境応答 A/生理反応
11:30	<p>3aA11 oil 高蓄積珪藻 <i>Fistulifera solaris</i> 及び <i>Mayamaea</i> sp. JPCCTDA0820 の窒素飢餓応答 天野桃花¹, 中安真菜¹, 嶋川銀河¹, 田中剛², 松田祐介¹ (1)関学大・理工, (2)東京農工大・工)</p>	<p>3aB11 スギ雄花含有糖アルコール成分の季節変化 伊ヶ崎知弘¹, 掛川弘一², 菱山正二郎², 橋田光² (1)森林総研・樹分子, (2)森林総研・資源化)</p>	<p>3aC11 単細胞紅藻シズンの光強度に依存した葉緑体遺伝子発現変動と二成分制御系による調節 安田暉¹, 今村壮輔², 田中寛², 華岡光正^{1,3} (1)千葉大・院園芸・応用生命, (2)東工大・化生研, (3)千葉大・植物分子研)</p>	
11:45	<p>3aA12 海洋性珪藻 <i>Thalassiosira pseudonana</i> において Lhex タンパク質が光防御に担う役割 中安真菜¹, 米田広平², 嶋川銀河¹, 松田祐介¹ (1)関学大・院理工, (2)筑波大・生命環境)</p>		<p>3aC12 紅藻シズンにおけるレトログレードシグナルによる光転写制御とヘムの関与 齋藤遥¹, 大原ひかる¹, 小林勇気², 田中寛², 五十嵐雅之³, 内海龍太郎⁴, 岡島俊英⁴, 華岡光正^{1,5} (1)千葉大・院園芸・応用生命, (2)東工大・化生研, (3)微化研, (4)阪大・産研, (5)千葉大・植物分子科学研究セ)</p>	

E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
植物ホルモン/シグナル伝達物質	環境応答B/環境ストレス	発生・形態形成	植物生物間相互作用B					
<p>3aE11 植物成長促進化合物 PPG ターゲットタンパク質のメタボローム・トランスクリプトーム解析による分子機構解明 大島和真¹, 竹野駿^{2,3}, 田中翔太^{2,3}, 加賀慶也^{1,7}, 山上あゆみ¹, 嶋田勢津子², 松井南², 笈雄介⁴, 嶋田幸久⁴, 瀬上紹嗣⁵, 佐々木亮介², 平井優美², 近藤恭光², 堂前直², 久城哲夫³, 前島正義³, 浅見忠男⁶, 長田裕之², 篠崎一雄², 高木優⁷, 中野雄司¹ (1京大・院生命, 2理研・CSRS, 3明治大院・農芸化学, 4横浜市大, 5名大院・生命農, 6東大院・農生科, 7埼玉大院・理工)</p>	<p>3aF11  Ethanol-mediated survival strategy against drought stress in plants Khurram Bashir^{1,2}, Daisuke Todaka², Sultana Rasheed², Akihiro Matsui^{2,3}, Zarnab Ahmad⁴, Kaori Sako⁴, Yoshinori Utsumi², Anh Thu Vu², Muneeba Siddique¹, Mehrooz Adana Qureshi¹, Maho Tanaka^{2,3}, Satoshi Takahashi^{2,3}, Junko Ishida^{2,3}, Yuuri Tsuboi⁵, Shunsuke Watanabe^{6,7}, Yuri Kanno⁶, Eigo Ando^{8,9}, Makoto Seito¹⁰, Hinata Motegi^{2,10}, Muneo Sato¹¹, Rui Li¹¹, Saya Kikuchi¹², Miki Fujita¹², Miyako Kusano^{13,14}, Makoto Kobayashi¹³, Yoshiki Habu^{14,15}, Atsushi J. Nagano^{16,17}, Kanako Kawaura¹⁰, Jun Kikuchi^{5,18,19}, Kazuki Saito¹³, Masami Yokota Hirai¹¹, Mitsunori Seo⁶, Kazuo Shinozaki¹², Toshinori Kinoshita^{8,20}, Motoaki Seki^{2,4,10} (1Department of Life Sciences, SBA School of Science and Engineering, Lahore University of Management Sciences, 2Plant Genomic Network Research Team, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 3Plant Epigenome Regulation Laboratory, Cluster for Pioneering Research, RIKEN, 4Department of Advanced Bioscience, Faculty of Agriculture, Kindai University, 5Environmental Metabolic Analysis Research Team, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 6Dormancy and Adaptation Research Unit, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 7IPSiM, University of Montpellier, CNRS, INRAE, Institut Agro, 8Division of Biological Sciences, Graduate School of Science, Nagoya University, 9Department of Biological Sciences, School of Science, The University of Tokyo, 10Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University, 11Mass Spectrometry and Microscopy Unit, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 12Gene Discovery Research Group, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 13Metabolomics Research Group, Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, 14Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 15Institute of Agrobiological Sciences, National Agriculture and Food Research Organization, 16Faculty of Agriculture, Ryukoku University, 17Institute for Advanced Biosciences, Keio University, 18Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, 19Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, 20Institute of Transformative Bio-Molecules (WPI-ITbM), Nagoya University)</p>	<p>3aG11  <i>Arabidopsis thaliana</i> RPL13aC regulates root system architecture through shoot potassium accumulation Dichao Ma, Hirofumi Fukuda, Naoyuki Sotta, Toru Fujiwara (Grad. Sch. Agri., Univ. Tokyo)</p>			<p>シンポジウムS08 シングルセル解析は植物科学に何をもたらすのか (8:00-12:00)</p>			11:30
<p>3aE12 シロイヌナズナ胚軸の成長を促進する新規化合物の作用解析 村尾瑞基¹, 加藤里佳¹, 久松リナ², 佐藤綾人², 萩原伸也³, 伊丹健一郎², 鳥居啓子^{2,4}, 打田直行⁵ (1名古屋大・理, 2名古屋大・ITbM, 3理研・CSRS, 4テキサス大オースティン校, HHMI, 5名古屋大・遺伝子)</p>	<p>3aF12 干ばつストレス時の馬鈴薯におけるRNA-Seqを用いた遺伝子発現解析 川本健太, 増富裕文, 石原克之 (カルビー株式会社)</p>	<p>3aG12 ミヤコグサにおける根粒共生初期応答遺伝子の周期的発現振幅 征矢野敏, 川口正代司 (基生研)</p>						11:45

 = 発表の言語は英語

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	細胞周期・分裂	一次代謝	細胞壁	光受容体/光応答
13:30	<p>3pA01 ㊦</p> <p>Control of DNA replication by histone methyltransferases ATXR5 and ATXR6 in <i>Arabidopsis thaliana</i></p> <p>Kar Yee Moo¹, Akiko Masada¹, Haruka Manabe¹, Hirotomo Takatsuka², Shiori S Aki¹, Masaaki Umeda¹ (1Graduate School of Science and Technology, Nara Institute of Science and Technology, 2School of Biological Science and Technology, College of Science and Engineering, Kanazawa University)</p>	<p>3pB01 ㊦</p> <p>Phosphatidylcholine biosynthesis pathways in Arabidopsis - a role of distinct methyltransferases</p> <p>Yuki Nakamura^{1,2,3}, Yu-Chi Liu³, Anh H. Ngo^{1,3}, Yue-Rong Tan³, Ying-Chen Lin³, Artik Elisa Angkawijaya^{1,3}, Van Cam Nguyen^{1,3}, Kazue Kanehara³ (1RIKEN CSRS, 2Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo, 3IPMB, Academia Sinica)</p>	<p>3pC01</p> <p>カルシウム欠乏条件下のトマト果実形態変化における細胞壁構築制御機構の解析</p> <p>曾山亮¹, 宮越茜里², 宮地桃子², 杉山晴香², 板野愛都², 檜垣匠³, 佐藤忍², 古川純², 岩井宏暁² (1筑波大・理工情報生命, 2筑波大・生命環境, 3熊本大学大学院先端科学研究部)</p>	<p>3pD01</p> <p>ゼニゴケの細胞核光定位運動におけるキネシン様タンパク質 MpKAC の機能的役割</p> <p>岩瀬功誠¹, 八木宏樹², 沖奈那夏², 横畑倫奈², 中田亜紗美², 広本沙耶², 小松愛乃³, 酒井友希⁴, 高木慎吾⁵, 西浜竜一⁶, 河内孝之⁷, 渡辺洋平², 上田晴子², 西村いくこ² (1大阪医薬大・医, 2甲南大・理工, 3東北大・院生命科学, 4神戸大・院理, 5大阪大・院理, 6東京理科大・理工, 7京都大・院生命科学)</p>
13:45	<p>3pA02</p> <p>ゼニゴケにおける細胞周期制御因子 WEE1 と CDC25 の機能解析</p> <p>小田歩美¹, 安喜史織¹, 西浜竜一², 梅田正明¹ (1奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科, 2東京理科大学 理工学部 応用生物科学科)</p>	<p>3pB02 ㊦</p> <p>Detecting the Interplay Between DNA Methylation and Lipid Production in Plants</p> <p>Jo-Wei Allison Hsieh^{1,2}, Yu-Chi Liu¹, Lin-Tzu Huang¹, Yuki Nakamura^{3,4}, Pao-Yang Chen^{1,2} (1Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 2Genome and Systems Biology Degree Program, Academia Sinica and National Taiwan University, Taipei, Taiwan, 3RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, Japan, 4Graduate School of Science, The University of Tokyo, Japan)</p>	<p>3pC02</p> <p>ゼニゴケ Rboh 由来の ROS による細胞壁タンパク質エクステンシンのチロシン架橋構造形成の検証</p> <p>神谷佳世, 東島万里子, 山下優音, 阿部尚明, 白戸幸, 橋本研志, 朽津和幸 (東京理科大・理工・応用生物科学)</p>	<p>3pD02</p> <p>葉緑体集合反応のシグナル伝達速度はフォトトロピンの発現量に依存する</p> <p>平野慧蓮^{1,2}, 西尾治幾^{3,4}, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生, 3滋賀大・DS, 4京都大・生医研)</p>
14:00	<p>3pA03</p> <p>陸上植物進化の基部に位置するゼニゴケにおける DNA 損傷応答機構の解明</p> <p>原山(園本)郁¹, 坂本智昭², 木村成介², 東谷篤志¹, 日出間純¹ (1東北大 生命科学研究所, 2京都産業大学 生命科学部)</p>	<p>3pB03 ㊦</p> <p>Role of LYSOPHOSPHATIDIC ACID ACYLTRANSFERASE 2 (LPAT2) in <i>de novo</i> glycerolipid metabolism and developmental control: Two sides of the same coin?</p> <p>Nina Alyssa Barroga^{1,2,3}, Yuki Nakamura¹ (1Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, Yokohama 230-0045, 2Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei 11529, Taiwan, 3Molecular and Biological Agricultural Sciences Program, Taiwan International Graduate Program, Academia Sinica and National Chung Hsing University, Taipei 11529, Taiwan)</p>	<p>3pC03</p> <p>シロイヌナズナ葉数石細胞の多方向への平面成長は扇型の子葉形態形成に寄与する</p> <p>瀧川翠美¹, 今村寿子², 曾我康一³, 小竹敬久⁴, 檜垣匠¹ (1熊本大・院・自然科学, 2九州大・院・医, 3大阪公立大・院・理, 4埼玉大・院・理工)</p>	<p>3pD03</p> <p>葉緑体寒冷逃避反応に関わる青色光受容体フォトトロピンの発現量に依存する</p> <p>野口穂^{1,2}, 児玉豊^{1,2} (1宇都宮大・バイオセンター, 2宇都宮大院・地域創生科学)</p>
14:15	<p>3pA04</p> <p>HPY2/NSE2 と SMC5/6 複合体の植物細胞周期における制御機能の解析</p> <p>石田遙志, 吉村美香 (熊本大・院・先端科学)</p>	<p>3pB04 ㊦</p> <p>A Pair of Arabidopsis Diacylglycerol Kinases Involved In Phosphatidylglycerol Biosynthesis in the Endoplasmic Reticulum</p> <p>Van Nguyen (RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS), RIKEN Yokohama)</p>	<p>3pC04</p> <p>細胞外ポリマーの出現における omega-hydroxylase の役割とその進化の研究</p> <p>葉彦, Hugues Renault (CNRS, IBMP, Strasbourg Univ.)</p>	<p>3pD04</p> <p>青色光に応答した細胞膜 H⁺-ATPase の 2 つの部位のリン酸化は気孔開口に必須である</p> <p>富士彩紗¹, 山内翔太¹, 杉山直幸², 西浜竜一³, 鳥崎研一郎⁴, 武宮淳史¹ (1山口大・院・創成科学, 2京大・院・薬, 3東京理科大・理工, 4九大・院・理)</p>
14:30	<p>3pA05 ㊦</p> <p>KNO1-mediated autophagic degradation of the Bloom component RMI1 promotes homologous recombination</p> <p>Povy Chen¹, Masaki Ito¹, Arp Schnittger² (1School of Biological Science and Technology, College of Science and Engineering, Kanazawa University, 2Department of Developmental Biology, University of Hamburg)</p>	<p>3pB05 ㊦</p> <p>The involvement of GLYCEROPHOSPHODIESTER PHOSPHODIESTERASE6 in root growth of Arabidopsis in P starvation</p> <p>Hai Anh Ngo^{1,3}, Yuki Nakamura^{1,2,3} (1RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS), Yokohama 230-0045, Japan, 2Graduate School of Science, The University of Tokyo, Tokyo 113-8654, Japan, 3Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei 11529, Taiwan)</p>	<p>3pC05</p> <p>シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程の早期で生産される ROS は ANAC096 の発現を調節して、形成層細胞の形成に寄与している</p> <p>大場裕介¹, Jiuyi Li¹, 山崎達也¹, 松岡啓太², 朝比奈雅志^{2,3}, 朽津和幸⁴, 佐藤忍⁵, 岩井宏暁⁵ (1筑波大・院理工情報生命, 2帝京大・理工・バイオ, 3帝京大・先端機器分析センター, 4東京理科大・理工・応用生物科学, 5筑波大・生命環境)</p>	<p>3pD05</p> <p>WDR は孔辺細胞葉緑体のデンブリン分解を介して気孔開口を促進する</p> <p>山内翔太¹, 杉山直幸², 児玉豊³, Luca Distefano⁴, 野元美佳⁵, 多田安臣⁵, Diana Santelia⁴, 鳥崎研一郎⁶, 武宮淳史¹ (1山口大・院・創成科学, 2京大・院・薬, 3宇都宮大・バイオセンター, 4ETH Zürich, 5名古屋大・遺伝子, 6九州大・院・理)</p>
14:45	<p>3pA06</p> <p>分子レベルの収斂進化による染色体パッセンジャー複合体の局在機構</p> <p>小牧伸一郎¹, Eelco C Tromer², Geert De Jaeger³, Nancy De Winne³, Maren Heese⁴, Arp Schnittger⁴ (1奈良先端大・バイオ, 2フロンティアゲン大学, 3ゲント大学, 4ハンブルク大学)</p>	<p>3pB06 ㊦</p> <p>A pair of phosphoinositide-binding proteins modulates plant growth and trichome development through the transcriptional regulation of <i>GLABRA1</i> in <i>Arabidopsis thaliana</i></p> <p>Chao-Yuan Yu^{1,2}, Oshin Sharma^{2,3,4}, Yuki Nakamura¹, Kazue Kanehara^{2,5} (1Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, Yokohama, Japan, 2Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 3Molecular and Biological Agricultural Sciences Program, Taiwan International Graduate Program, National Chung-Hsing University and Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 4Graduate Institute of Biotechnology, National Chung-Hsing University, Taichung, Taiwan, 5Biotechnology Center, National Chung-Hsing University, Taichung, Taiwan)</p>	<p>3pC06 ㊦</p> <p>Understanding the role of <i>de novo</i> tracheary elements in <i>Nicotiana</i> interfamily grafting</p> <p>Chao-kun Huang¹, Ken-ichi Kurotani², Ryo Tabata¹, Nobutaka Mitsuda³, Ryohei Sugita^{4,5}, Keitaro Tanoi⁴, Michitaka Notaguchi^{1,2,6} (1Grad. Sch. Bioagri., Univ. Nagoya, 2Bioscience and Biotechnology Center, Univ. Nagoya, 3Bioproduction Research Institute, AIST, 4Grad. Sch. Agricultural and Life Sciences., Univ. Tokyo, 5Radioisotope Research Center, Univ. Nagoya, 6ITBM., Univ. Nagoya)</p>	<p>3pD06</p> <p>孔辺細胞における細胞膜 H⁺-ATPase の C 末端のリン酸化を介した新規機能制御の解析</p> <p>林優弘¹, 深津孝平¹, 高橋宏二¹, 木下(永純)悟¹, 加藤恭平², 桑田啓子², 鈴木孝征³, 木下俊則² (1名大・院理・生命, 2名大・WPI-ITBM, 3中部大・応用生物)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
植物ホルモン/シグナル伝達物質	環境応答 B/環境ストレス	花成/時計	植物生物間相互作用 B					
<p>3pE01 細胞からのサイトカニン排出に関与する新奇 ABC 型トランスポーター遺伝子の単離と機能解析 浦上拓也, 木羽隆敏, 榊原均(名大・院・生命農)</p> <p>3pE02 イネ細胞壁局在型 cytokinin/purine riboside nucleosidase はアポプラスト空間でのサイトカニン代謝に関与する 小嶋美紀子^{1,2}, 横田庸絵¹, 大橋美和², Alicia Surjana², 工藤徹¹, 武田・神谷紀子¹, 豊岡公徳¹, 宮尾安藝雄^{3,5}, 廣近洋彦³, 安藤露^{4,5}, 正村純彦^{4,5}, 矢野昌裕^{3,5}, 山本敏史^{3,5,6}, 保浦徳昇⁷, 榊原均^{1,2}(¹理研・CSRS, ²名古屋大・院生命農学, ³生物研, ⁴STAFF研, ⁵農研機構, ⁶岡山大・IPSR, ⁷名古屋大・生物機能開発センター)</p> <p>3pE03 地上部で合成されるイソペンテニルアデニン型サイトカニンの新たな生理機能の解明 門田宏太¹, 小嶋美紀子², 竹林裕美子², 鈴木孝征³, 杉浦大輔⁴, 中川強³, 榊原均^{2,4}, 蜂谷卓士⁵(¹鳥根大・院自然科学, ²理研・CSRS, ³中部大・院応用生物, ⁴名大・院生命農学, ⁵鳥根大・総科セ遺伝子)</p> <p>3pE04 【演題取り下げ】</p> <p>3pE05 寄生植物ストライガの吸器誘導におけるサイトカニンの寄与 青木夏美¹, Songkui Cui^{1,2}, 吉田聡子¹(¹奈良先端大, ²Kunming Institute of Botany)</p> <p>3pE06 イネコアコレクシオンを用いたフェアリー化合物 AOH(2-aza-8-oxohypoxanthine)応答性に関するゲノムワイド関連解析 品田遼詞¹, 呉静^{2,3}, 河岸洋和^{2,3}, 山下寛人², 一家崇志^{2,4}(¹静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻, ²静岡大学農学部, ³キノコ科学研究所, ⁴静岡大学グリーン科学技術研究所)</p>	<p>3pF01 乾燥ストレス応答に関わる新規膜タンパク質の機能解析 大谷晴香¹, 井上和奏¹, 鈴木健裕², 堂前直², 高橋史憲¹(¹東京理科大・生命システム工, ²理研・CSRS)</p> <p>3pF02 乾燥ストレス応答性転写因子と相互作用する因子群の機能解析 前谷純樹, 中山貴琉, 高橋史憲(東京理科大, 先進工)</p> <p>3pF03 ㊦ Stress-Induced Dynamic Changes In The Subcellular Localization Of β-Glucosidase Involved In ABA Production Yutong Song, Tayebeh Abedi, Hiroshi Shimada, Atsushi Sakamoto (Grad. Sch. Integr. Sci. Life, Hiroshima Univ.)</p> <p>3pF04 シロイヌナズナ孔辺細胞における SnRK2 基質のリン酸化プロテオーム解析 山下昂太¹, 三枝瑞季¹, 山内翔太², 武宮淳史², 梅澤泰史¹(¹農工大・院・BASE, ²山口大・理)</p> <p>3pF05 SNS1 を介した長期乾燥ストレス条件への抵抗戦略 片桐壮太郎¹, 神山佳明¹, 木下俊則², 梅澤泰史¹(¹東京農工大学, ²名古屋大学)</p> <p>3pF06 シロイヌナズナのグループ B1 Raf 型プロテインキナーゼは浸透圧ストレス依存的に脱リン酸化される 神山佳明, 片桐壮太郎, 山下昂太, 李揚丹, 梅澤泰史(農工大・院・BASE)</p>	<p>3pG01 新規低分子化合物 DVRs による光照射下での脱春化誘導とその作用機序 大塚菜那¹, 福地正弥¹, 澤ひかる¹, 佐藤綾人², 白川一¹, 伊藤寿朗¹(¹奈良先端大・バイオ, ²名古屋大・ITbM)</p> <p>3pG02 FT 輸送における原形質連絡の役割 村田裕介, 阿部光知(東大・院・総合文化)</p> <p>3pG03 フロリゲン活性化複合体が形成する液-液相分離凝集体の制御機構 榎本麻由¹, 安澤すあひ¹, 小泉優香¹, 古板恭子², 田岡健一郎^{3,4}, 西田敬二⁴, 近藤昭彦⁴, 児玉高志², 藤原敏道², 辻寛之^{3,5}, 児嶋長次郎^{1,2}(¹横浜国立大学大学院理工学府, ²大阪大学蛋白質研究所, ³横浜市立大学木原生物学研究所, ⁴神戸大学先端バイオ工学研究センター, ⁵名古屋大学生物機能開発利用研究センター)</p> <p>3pG04 苔類ゼニゴケの生殖細胞分化因子 BONOBO をコードする遺伝子座における日長変化に依存したクロマチン動態 田中健太, 吉竹良洋, 梶原智明, Haonan Bao, 安居佑季子, 山岡高平, 河内孝之(京大・院生命農学)</p> <p>3pG05 キタクニコウキクサにおける光周期依存性休眠の誘導に関与する遺伝子群の解析 伊藤照徳, 小山時隆(京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻 植物学教室 形態統御学)</p>	<p>3pH01 ムラサキにおける細胞外ナフトキノンと分泌型ペルオキシダーゼの生理的役割 市野琢爾¹, 陽川憲², 巽奏¹, 晝間敬^{3,4}, 中安大¹, 高松恭子¹, 森吉英子¹, 榊方有桂¹, 杉山暁史¹, 渡邊崇人¹, 下村謙一郎², 渡辺隆司¹, 矢崎一史¹(¹京都大・生研研, ²北見工業大・工, ³東京大・院総合文化, ⁴奈良先端大・先端科学技術, ⁵東洋大・生命科学)</p> <p>3pH02 ダイズ根圏細菌のインフラボン代謝遺伝子の同定と機能解析 青木愛賢¹, 鳥崎智久^{1,2}, 矢崎渉¹, 中安大¹, 安藤見規³, 岸野重信³, 小川順³, 増田幸子⁴, 柴田ありさ⁴, 須田互⁵, 白須賢⁴, 矢崎一史¹, 杉山暁史¹(¹京都大・生研研, ²理研・BRC, ³京都大・農, ⁴理研・CSRS, ⁵理研・IMS)</p> <p>3pH03 干ばつ下の植物-土壌フィードバックが後作ダイズの干ばつ耐性に及ぼす影響 藤佑志郎¹, 成川恵², 津田麻衣³, 市橋泰範², 佐々木亮介¹, 櫻井建吾⁴, 高橋宏和⁵, 高梨秀樹⁴, 加賀秋人⁶, 辻本壽⁷, 中野幹生⁵, 藤原徹⁴, 岩田洋佳⁴, 平井優美^{1,5}(¹理研・CSRS, ²理研・BRC, ³筑波大・T-PIRC, ⁴東大・院農学生命科学, ⁵名大院・生命農学, ⁶農研機構・次世代作物開発研究センター, ⁷鳥大・乾燥地研究センター)</p> <p>3pH04 ㊦ Evolutionary insights into the interaction between tobacco roots and <i>Arthrobacter</i> mediated by nicotine-degradation gene cluster Tomohisa Shimasaki¹, Sachiko Masuda², Arisa Shibata², Wataru Suda³, Ken Shirasu², Yasunori Ichihashi¹, Kazufumi Yazaki⁴, Akifumi Sugiyama⁴, Ryohei Thomas Nakano⁵(¹RIKEN・BRC, ²RIKEN・CSRS, ³RIKEN・IMS, ⁴RISH, Kyoto Univ., ⁵MPIPZ)</p> <p>3pH05 土壌微生物由来の揮発性有機化合物による植物生長制御 村田純, 渡辺健宏, 小村啓(公益財団法人サントリー生命科学財団)</p> <p>3pH06 草食防御を強化するトマト香氣配糖体化酵素の同定 小笠原一郎¹, 杉本貢一², 松井健二³, 江面浩², 大西利幸⁴, 高林純史⁵(¹サントリーグローバルイノベーションセンター(株)・研究部, ²筑波大・つくば機能植物イノベーション, ³山口大・農, ⁴静大・グリーン研, ⁵京大・生農研)</p>	シンポジウム S09 植物の環境センシングと受容体情報網(13:30-16:30)				13:30
								13:45
								14:00
								14:15
								14:30
								14:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月17日(金) 午後(13:30-16:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	細胞周期・分裂	一次代謝	細胞壁	光受容体/光応答
15:00	<p>3pA07 シロイヌナズナの Kinesin-14 ファミリータンパク質のリン酸化による機能制御 笹部美知子¹, 三上裕大¹, 富田昌伸¹, 山地良樹¹, 濱田隆宏², 中神弘史³, 橋本隆⁴, 町田泰則⁵(¹弘前大・農生, ²岡山理科大・理, ³Max Planck Institute for Plant Breeding Research, ⁴奈良先端大・バイオ, ⁵名大院・理・生命)</p>	<p>3pB07 ㊦ A lipidomic landscape of circadian rhythm in <i>Arabidopsis thaliana</i> Artik Elisa Angkawijaya^{1,2}, Van Cam Nguyen^{1,2}, Katharina Gutbrod³, Helga Peisker³, Peter Dörmann³, Yuki Nakamura^{1,2} (¹Center for Sustainable Resource Science, RIKEN, Yokohama, 230-0045 Japan, ²Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, 128 sec.2 Academia Rd., Nankang, Taipei 11529, Taiwan, ³Institute of Molecular Physiology and Biotechnology of Plants, University of Bonn, D-53115 Bonn, Germany)</p>	<p>3pC07 ㊦ Chemical screening to identify graft promoting molecules in Fabaceae Qianqian Luo¹, Xueyao Shu¹, Ayato Sato², Yaichi Kawakatsu³, Ryoko Morinobe¹, Lalita Jantean¹, Hejin Son¹, Ken-ichi Kurotani³, Michitaka Notaguchi^{1,3} (¹Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, ²Institute of ITbM., Univ. Nagoya, ³Biosci & Biotech Center., Univ. Nagoya)</p>	<p>3pD07 イソチオシアネートを基盤とした気孔開口阻害剤の機能解析と分子改良 相原悠介^{1,2}, 前田文平³, 後藤葉奈³, 野元美佳^{4,5}, 高橋宏二⁴, 藤茂雄^{4,6}, 叶文秀^{4,7}, 戸田陽介^{1,8}, 多田安臣^{4,5}, 佐藤綾人¹, 伊丹健一郎^{1,4}, 村上慧^{1,3}, 木下俊則^{1,4} (¹名大・ITbM. ²JST・さきがけ, ³関西学院大・理工, ⁴名大・院理, ⁵名大・遺伝子実験施設, ⁶名城大・農, ⁷北京大・現代農業研, ⁸株式会社フィットメトリクス)</p>
15:15		<p>3pB08 植物スフィンゴ脂質 GIPC 分解酵素の同定 真田昇¹, Rumana Yesmin Hasi², 田中保², 今井博之³, 山口雅利¹, 川合真紀¹, 石川寿樹¹ (¹埼玉大・院・理工, ²徳島大・生物資源, ³甲南大・理工)</p>	<p>3pC08 細胞壁関連遺伝子を介した乾燥耐性の制御 遠藤暁詩, 福田裕穂 (京都先端・バイオ環境)</p>	<p>3pD08 気孔孔辺細胞において青色光によりリン酸化レベルの変動するタンパク質の機能解析 深津孝平¹, 林優紀¹, 鈴木孝征², 桑田啓子³, 木下俊則^{1,3} (¹名古屋大学大学院・理学研究科, ²中部大学・応用生物学部, ³名古屋大学・ITbM)</p>
15:30		<p>3pB09 シアノバクテリアはアシル化プラストキノン蓄積する 石川寿樹¹, 高野駿也¹, 谷川梨瑚², 藤原隆司³, 厚沢季美江³, 金子康子¹, 日原由香子¹ (¹埼玉大・院理工, ²埼玉大・理, ³埼玉大・分セ)</p>	<p>3pC09 ㊦ Ubiquitination-mediated xylem vessel element formation in response to pathogen in plants Ya Ma¹, Rune Kurokawa¹, Ryosuke Sano², Kei Hiruma³, Taku Demura², Misato Ohtani^{1,2} (¹Grad. Sch. Front. Sci., Univ. Tokyo, ²INST. Div Biol Sci., NAIST, ³Grad. Sch. Art Sci., Univ. Tokyo)</p>	<p>3pD09 キナーゼ阻害剤による気孔開口抑制の分子機構の解析 桑山翔悟¹, 高橋宏二¹, 林真妃^{1,2}, 佐藤綾人³, 木下俊則^{1,3} (¹名古屋大・院理, ²東北大・院生命, ³トランスフォーメティブ生命分子研究所)</p>
15:45		<p>3pB10 気孔葉緑体特異的に形成不全を引き起こすシロイヌナズナ変異体 <i>achs4</i> の原因遺伝子の同定 宋普錫¹, 山柿将¹, 小畑智暉¹, 西村さくら¹, 大隈玲央奈¹, 射場厚¹, 萩原淳太郎 (九州大院・理)</p>	<p>3pC10 ホウ素欠除処理に伴う活性酸素生成に関与するシロイヌナズナタンパク質の同定 澤田菜子, 梅木大輔, 伊福健太郎, 小林優 (京都大・院・農)</p>	<p>3pD10 タイプ2C プロテインホスファターゼ D クレイドによる気孔開度制御 木下大地¹, 水谷未耶^{1,2}, 榎原拓¹, 村上公亮¹, 丹下昭憲¹, 安藤英信³, 木下俊則^{1,2} (¹名古屋大・院理・生命理学, ²名古屋大・ITbM, ³東京大・院理・生物)</p>
16:00		<p>3pB11 気孔開口におけるホスファチジルエタノールアミン合成酵素の機能解析 萩原淳太郎¹, 小畑智暉¹, 西村さくら¹, 宋普錫¹, 山柿将¹, 星野奈摘², 深津孝平³, 木下俊則^{3,4}, 西田生郎², 射場厚¹ (¹九州大・院・理, ²埼玉大・院理工, ³名古屋大・院・理, ⁴名古屋大・ITbM)</p>		
16:15				

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物ホルモン/シグナル伝達物質	環境応答 B/環境ストレス	花成/時計	植物生物間相互作用 B					
<p>3pE07 気孔開口シグナル伝達経路に作用する新規化合物の分子機構の解析 幸洗徹¹, 相原悠介¹, 藤茂雄², 佐藤綾人³, 木下俊則^{1,3} (1名大・院生命理学, 2名城大・農学, 3名大・ITbM)</p>	<p>3pF07 MBD10 はシロイヌナズナの ABA 応答における老化促進に関与する 李揚旦¹, 峯岸英有子¹, 田村由貴¹, 神山佳明¹, 山下昂太¹, 片桐壮太郎¹, 川上直人², 梅澤泰史¹ (1農工大・院・BASE, 2明治大・農)</p>		<p>3pH07 <i>Cuscuta campestris</i> と <i>Arabidopsis thaliana</i> の寄生境界面に形成される原形質連絡の形成制御因子の探索 小倉瑞季, 青木考 (大工大・農)</p>		シンポジウム S09 植物の環境センシングと受容体情報網 (13:30-16:30)			15:00
<p>3pE08 乾燥ストレス耐性を促進するブラブラシノステロイド新規シグナル伝達因子 BSH2 の分子機能 蘇日輝¹, 山上あゆみ¹, 宮地朋子², 光田展隆³, 作田正明⁴, 浅見忠男⁵, 篠崎一雄², 中野雄司¹ (1京大院・生命, 2理研・CSRS, 3産総研, 4お茶の水女子大院, 5東大院)</p>	<p>3pF08 浸透圧耐性シロイヌナズナ accession から得られた, 塩馴化後浸透圧耐性欠損株 <i>aod12</i> の解析 小林晃也¹, 田中啓介², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2東京農大・ゲノムセンター)</p>		<p>3pH08 寄生植物 <i>Cuscuta campestris</i> と宿主植物間の mRNA 輸送システム制御機構の解析 藪さこ, アーニヤ妙子, 青木考 (大工大・農)</p>					15:15
<p>3pE09 新規タンパク質 BIL8 は GSK-3-like キナーゼ BIN2 を介してブラシノステロイドシグナルを調節する 壺干扎那¹, 山上あゆみ¹, 中田元基², 松井南³, 久城哲夫², 浅見忠男⁵, 中野雄司¹ (1京大院・生命, 2明治大院・農芸化学, 3理研・CSRS, 4東大院・農生科・応生化)</p>	<p>3pF09 シロイヌナズナにおける <i>SABRE</i> 遺伝子の欠失は有害な免疫応答を介して浸透圧耐性を低下させる 高橋弥子¹, 有賀裕剛², 西村浩二³, 田中啓介⁴, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源, 3鳥根大・生命科学, 4東京農大・ゲノムセンター)</p>		<p>3pH09 E Host salt supply causes decreased growth in the facultative root hemiparasite <i>Phtheirospermum japonicum</i> attached to <i>Arabidopsis thaliana</i> Clarissa Frances Frederica¹, Louis Irving² (1Grad. Sch. Sci. Tech., Univ. of Tsukuba, 2Fac. Life Environ. Sci., Univ. of Tsukuba)</p>					15:30
<p>3pE10 高温はブラシノステロイド合成を抑制することにより種子のアブシシン酸感受性を高め, 発芽を抑制する 樋夏希¹, 岡田紗都子¹, 山口源貴¹, 菅野裕理², 瀬尾光範², 川上直人¹ (1明大・農・生命科学, 2理研・CSRS)</p>	<p>3pF10 シロイヌナズナ野生系統間に見られる浸透圧耐性多様性メカニズムの解析 村越祐介¹, 番場康介¹, 有賀裕剛², 田中啓介³, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源, 3東京農大・ゲノムセンター)</p>		<p>3pH10 E Influence of Light Level and Nutrient Supply to Parasitized and Unparasitized Roots in the Red Clover - <i>Orobancha minor</i> Association Louis Irving, Mao Hattori (Life Env. Sci., Univ. Tsukuba)</p>					15:45
<p>3pE11 シロイヌナズナにおける緑の香り誘導性カルシウムシグナルの可視化 荒谷優里¹, 上村卓矢¹, 豊田正嗣¹ (埼玉大学大学院細胞情報研究室)</p>	<p>3pF11 シロイヌナズナ <i>Wt-1</i> における塩馴化後浸透圧耐性欠損メカニズムの解析 平野貴大¹, 有賀裕剛², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源)</p>							16:00
<p>3pE12 GCaMP3 高発現シロイヌナズナを用いた一過的 Ca²⁺ 上昇を引き起こす揮発性化合物のスクリーニング 山内雄雄¹, 坂本龍哉¹, 豊田正嗣², 高林純示³, 水谷正治¹, 杉本幸裕¹ (1神戸大・院農, 2埼玉大・院理工, 3京都大・生態研)</p>	<p>3pF12 核膜孔複合体は免疫応答関連因子の輸送を介して植物の浸透圧耐性に重要な役割を果たす 森研人¹, 田村将¹, 西村浩二², 有賀裕剛³, 田中啓介⁴, 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹ (1東京農大・バイオ, 2鳥根大・生命科学, 3農研機構・遺伝資源, 4東京農大・ゲノムセンター)</p>							16:15

E = 発表の言語は英語

一般講演・口頭発表 座長一覧

1日目 3月15日(水) 午前

1aA01-1aA12	光合成	藤井 律子 増田 真二 柴田 穰
1aB01-1aB11	膜交通	伊藤 瑛海 高野 順平 南野 尚紀
1aC01-1aC10	ゲノム機能・遺伝子発現制御	川勝 泰二 平山 隆志 玉田 洋介
1aD01-1aD10	環境応答 A/生理反応	工藤 洋 木羽 隆敏 吉本 光希
1aE01-1aE12	植物ホルモン/シグナル伝達物質	上田 実 篠原 秀文 大西(小川) 真理
1aF01-1aF12	環境応答 B/環境ストレス	下嶋 美恵 坪山 祥子 石川 孝博
1aG01-1aG12	発生・形態形成	白川 一 松本 光梨 黒羽 剛
1aH01-1aH07	光受容体/光応答	近藤 陽一 中川 繭
1aI01-1aI09	システム生物学	市橋 泰範 西山 智明 中田 未友希

1日目 3月15日(水) 午後

1pA01-1pA12	光合成	高橋 拓子 加藤 祐樹 神保 晴彦
-------------	-----	-------------------------

1pB01-1pB11	生体膜・イオン・物質輸送	小西 範幸 佐々木 孝行 田野井 慶太郎
-------------	--------------	----------------------------

1pC01-1pC11	ゲノム機能・遺伝子発現制御	荒江 星拓 澁田 未央 杉山 宗隆
-------------	---------------	-------------------------

1pD01-1pD08	特化(二次)代謝	作田 正明 内田 開 和氣 駿之
-------------	----------	------------------------

1pE01-1pE12	生殖	大和 勝幸 植田 美那子 岡本 龍史
-------------	----	--------------------------

1pF01-1pF12	環境応答 B/環境ストレス	池田 美穂 堀口 元気 塩野 克宏
-------------	---------------	-------------------------

1pG01-1pG12	発生・形態形成	間宮 章仁 池田 陽子 槻木 竜二
-------------	---------	-------------------------

1pH01-1pH10	植物生物間相互作用 B	西田 帆那 壽崎 拓哉 川原田 泰之
-------------	-------------	--------------------------

1pI01-1pI08	システム生物学	大林 武 青木 裕一 櫻井 望
-------------	---------	-----------------------

1pY01-1pY11	新技術開発	有村 慎一 刑部 祐里子 赤間 一仁
-------------	-------	--------------------------

2日目 3月16日(木) 午前

2aA01-2aA11	光合成	和田 元 広瀬 侑 鈴木 石根
-------------	-----	-----------------------

2aB01-2aB07	生体膜・イオン・物質輸送	山地 直樹 神谷 岳洋
-------------	--------------	----------------

2aC01-2aC12 オルガネラ/細胞骨格 佐々木 武馬
本瀬 宏康
越水 静

2aD01-2aD09 特化(二次)代謝 平井 優美
草野 都
高橋 征司

2aE01-2aE12 生殖 戸田 絵梨香
藤井 壮太
石黒 澄衛

2aF01-2aF12 環境応答B/環境ストレス 高谷 信之
川勝 弥一
城所 聡

2aG01-2aG12 発生・形態形成 安居 佑季子
米倉 崇晃
酒井 友希

2aH01-2aH12 植物生物間相互作用 A 安田 盛貴
杉本 貢一
山田 晃嗣

2aI01-2aI07 新技術開発 上妻 馨梨
野澤 彰
石川 一也

3日目 3月17日(金) 午前

3aA01-3aA12 光合成 和田 慎也
桶川 友季
吉田 啓亮

3aB01-3aB11 一次代謝 櫻庭 康仁
小竹 敬久
橋田 慎之介

3aC01-3aC12 オルガネラ/細胞骨格 野崎 翔平
華岡 光正
坂本 勇貴

3aD01-3aD09 環境応答A/生理反応 森田(寺尾) 美代
瀬上 紹嗣
橋本 研志

3aE01-3aE12 植物ホルモン/シグナル伝達物質
打田 直行
山口 信次郎
増口 潔

3aF01-3aF12 環境応答B/環境ストレス 戸高 大輔
太治 輝昭
花俣 繁

3aG01-3aG12 発生・形態形成 橋本 美海
郷 達明
田中 慧太

3aH01-3aH07 植物生物間相互作用 B 宮田 佳奈
平田 梨佳子
高木 桃子

3日目 3月17日(金) 午後

3pA01-3pA07 細胞周期・分裂 石田 喬志
愿山(岡本) 郁
笹部 美知子

3pB01-3pB11 一次代謝 石川 寿樹
柁宜 淳太郎
中村 友輝

3pC01-3pC10 細胞壁 野田口 理孝
朽津 和幸
遠藤 暁詩

3pD01-3pD10 光受容体/光応答 山内 翔太
安藤 英伍
岩渕 功誠

3pE01-3pE12 植物ホルモン/シグナル伝達物質 榎原 均
小嶋 美紀子
川上 直人

3pF01-3pF12 環境応答B/環境ストレス 四井 いずみ
高橋 史憲
島田 裕士

3pG01-3pG05 花成/時計 久保田 茜

3pH01-3pH10 植物生物間相互作用 B 市野 琢爾
藤 佑志郎
村田 純